

ウォッチ 操作ガイド 5713

CASIO®

目次

注意事項

- 安全上のご注意
- ご使用上の注意
- お手入れについて
- 本製品で使用している電池について
- 金属バンドの駒詰めについて
- モバイルリンク機能に関する注意事項
- 無線に関するご注意

はじめに

- 各部の名称
- 文字板と画面の表示
- モードを切り替える
- 各モードの概略
- リゅうずを使う
- 針を一時的に移動する
- 充電する
- 暗い所で時計を見る
- 本機の便利な使い方

スマートフォンと一緒に使う

- 準備する
- 時計の時刻を自動で合わせる
- CASIO WATCHES の更新情報などを時計で受信する
- モードを設定する(モードカスタマイズ)
- 現在の位置情報を記録する(ロケーションメモリー)
- メモリー地点までの距離と方位を確認する(ロケーションインジケーター機能)
- 自動で高度を補正する
- 移動した場所の高度と経路を記録する(ミッションログ機能)
- ワールドタイムを設定する
- 針の位置を補正する
- スマートフォンを探す
- 時計の各種機能を設定する
- ホーム都市のサマータイム設定を切り替える
- 時計の充電量を確認する
- 訪れた場所を記録する(TIME & PLACE)
- 接続
 - 時計とスマートフォンを接続する
 - 時計とスマートフォンの接続を解除する
 - ペアリングを解除する
 - スマートフォンを買い替えたとき

時刻合わせについて

- 標準電波で時刻を合わせる
 - 概要
 - 受信に適した場所
 - 標準電波の受信範囲
 - 自動で標準電波を受信する
 - 自動受信のオン/オフ設定
 - 手動で標準電波を受信する
 - 受信状態のレベル表示について
 - 前回の時刻合わせ結果を確認する
 - 受信のご注意
- 時計を操作して時刻を合わせる
- 病院内、飛行機内で使うとき

ワールドタイム

- CASIO WATCHES でワールドタイムを設定する
- ワールドタイムを確認する
- ワールドタイム都市を設定する
- ホーム都市の時刻とワールドタイムの時刻表示を入れ替える

アラーム

- CASIO WATCHES でアラームをセットする
- アラームをセットする
- 時報をセットする
- アラームや時報を解除する

海外に渡航するときは

方位計測

- 方位を計測する
- 目標方位を記録する(ベアリングメモリー)
- 方位を補正する
 - 方位計測値のずれを補正する
 - 北方位を真北に設定する(磁気偏角補正)
- 方位計測のご注意

高度計測

- 現在地の高度を確認する
- 高度計測値を補正(オフセット)する
- 基準点からの高度差を確認する
- 自動計測の間隔を設定する
- 高度を記録する
- 高度計測のご注意

気圧計測

- 気圧を確認する
- 気圧の変化を確認する
- 気圧差を確認する
- 気圧の急激な変化を知らせる
- 気圧の計測値を補正(オフセット)する
- 気圧計測のご注意

温度計測

- 温度を確認する
- 温度計測値を補正(オフセット)する
- 温度計測のご注意

高度記録の確認

- 記録したデータを見る
- データを消去する

日の出/日の入り時刻

- 日の出/日の入り時刻を調べる
- 日にちを指定して日の出/日の入り時刻を調べる

ストップウォッチ

- 計測する
- スプリットタイムを計測する
- 1・2 着を同時に計測する

タイマー

- CASIO WATCHES でタイマーをセットする
- 時間を設定する
- タイマーを使う

針の補正

- CASIO WATCHES で針の位置を補正する
- 針の位置を補正する

その他の設定

- ボタンの操作音を設定する
- パワーセービング機能を設定する
- 時計の設定をリセットする

補足

- 都市一覧
- サマータイム期間一覧
- 対応するスマートフォン
- 仕様一覧
- 商標、登録商標について

困ったときは

注意事項

安全上のご注意

絵表示について

本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

	死亡または重傷を負う可能性が大きい内容を示しています。
	死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。
	軽傷を負う可能性および物的損害が発生する可能性がある内容を示しています。

絵表示の例



分解禁止

❌ 記号は「してはいけないこと」を意味しています (左の例は分解禁止)。



⚠️ 記号は「気をつけるべきこと」を意味しています。



❗ 記号は「しなければならないこと」を意味しています。

危険

●二次電池について



本機から二次電池を取り出さない。発熱、破裂、発火の恐れがあります。やむを得ず二次電池を取り出した場合は、誤って飲み込むことがないように注意してください。特に小さなお子様にご注意ください。万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。電池を飲み込むと、短時間で化学やけどや粘膜組織の貫通などを引き起こし、死亡事故の原因になります。



二次電池の交換は、必ず、「修理お申込み先」(「はじめにお読みください」を参照) またはお買い上げの販売店に依頼する。

指定外の電池を使用したり、電池の交換を誤ったりすると、発熱、破裂、発火の恐れがあります。

警告

●スクーバダイビングに使用しない



本機をスクーバダイビングに使用しない。

本機はダイバースウォッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。

●分解・改造しない



分解禁止

本機を分解・改造しない。

けがの原因となります。

●他の電子機器への影響について



病院内や航空機内では、病院や航空会社の指示に従う。使用禁止の場所で、使用しない。

本機からの電磁波などが計器類に影響を与え、事故の原因となります。



高精度な電子機器または微弱な信号を取り扱う電子機器の近くで使用しない。

電子機器が誤作動するなどの影響を与え、事故の原因となります。



心臓ペースメーカーなどをご使用の方は、本機を胸部から離して使う。

心臓ペースメーカーなどに磁力の影響を与えることがあります。異常を感じたら直ちに本機を体から離し、医師に相談してください。



満員電車の中など混雑した場所では、無線機能をオフにするか機内モードにする。

付近に心臓ペースメーカーなどを装着している方がいると、電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となります。

注意

●お手入れについて



ケース・バンドは常に清潔に使う。

ケース・バンドは汚れからさびが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。特に、海水に浸した後、放置するとさびやすくなります。

●かぶれについて



時計の本体およびバンドは、直接肌に接触しています。使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。

1. 金属・皮革に対するアレルギー
2. 時計の本体およびバンドの汚れ・さび・汗など
3. 体調不良など

バンドは余裕を持たせて使用する。

きつくしめると、汗をかきやすく、空気の通りが悪くなり、かぶれを起こす恐れがあります。

「抗菌防臭バンド」は細菌の繁殖とにおいの発生を抑えます。皮膚のかぶれを防ぐものではありません。

かぶれなど、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。



ときどき時計を外して手首を休ませる。

お客様のご使用いただく環境(長時間の装着や汗をかいた場合など)によっては、皮膚(肌)に負担がかかる場合があります。皮膚障害を防ぐため定期的に製品の装着をやめ、皮膚(肌)を休ませてください。

●データ保護について



データは、必ずノートなどに控えを取る。

電池切れや電池交換および故障修理の場合、データ内容はすべて消えます。

⚠ 注意

●ご使用にあたって



時計の表示は、安全な場所で確認する。

思わぬ転倒や、けが、事故の原因となることがあります。特に、道路でのマラソンやジョギング、自転車やバイク・自動車などの運転中にご注意ください。また、第三者への接触による事故防止にもご注意ください。



時計の着脱に注意する。

バンドの中留で爪を傷つける恐れがあります。特に、長く伸ばした爪では、中留の操作はおやめください。



小さなお子様と接するときは、時計を外す。

お子様のけがやアレルギーによるかぶれの原因となることがあります。



時計本体(裏ぶたを含む)やバンドに製品保護シールが付いている場合は、ご使用になる前に必ずはがす。

シールをはがさずにご使用になると、「時計本体やバンド」と「シール」との隙間に汚れが付着し、さびやかぶれの原因となることがあります。

●オートライト作動時のご使用について



オートライトが作動する状態で、腕につけて自動車などの運転をしない。

不意のライト点灯が運転を妨げて、交通事故の原因となることがあります。

ご使用上の注意

●防水性

- 防水時計は時計の表面または裏ぶたに「WATER RESIST」または「WATER RESISTANT」と表示されているもので、次のように分類されます。

日常生活用防水

時計の表面または裏ぶたに表記	「BAR」表記無し
----------------	-----------

使用例

洗顔、雨	○
水仕事、水泳	×
ウインドサーフィン	×
スキンドайビング(素潜り)	×

日常生活用強化防水

5 気圧防水

時計の表面または裏ぶたに表記	5BAR
----------------	------

使用例

洗顔、雨	○
水仕事、水泳	○
ウインドサーフィン	×
スキンドайビング(素潜り)	×

10 気圧防水

時計の表面または裏ぶたに表記	10BAR
----------------	-------

使用例

洗顔、雨	○
水仕事、水泳	○
ウインドサーフィン	○
スキンドайビング(素潜り)	○

20 気圧防水

時計の表面または裏ぶたに表記	20BAR
----------------	-------

使用例

洗顔、雨	○
水仕事、水泳	○
ウインドサーフィン	○
スキンドайビング(素潜り)	○

- 専門的な潜水=スクーバダイビング(空気ボンベ使用)でのご使用は避けください。
- 時計の表面または裏ぶたに「WATER RESIST」または「WATER RESISTANT」と表示されていないものは防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用は避けください。
- 防水構造の機種でも、以下のご使用は避けください。
防水性能の低下や、ガラスの内側が曇る原因になります。
- 「水中で」および「時計に水分がついた状態で」りゅうずやボタンを操作すること
- 入浴のときに使用すること
- 温水プールやサウナなどの高温多湿な環境で使用すること
- 時計を手につけたまま手洗い/洗顔/家事などをすると、石鹸や洗剤を使うこと
- 海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れを拭き取ってください。
- 防水性を保つために定期的(2~3年を目安)なパッキン交換をおすすめします。
- 電池交換の際、防水検査を行いますので、必ず「修理お申込み先」(「はじめにお読みください」を参照)またはお買い上げの販売店にお申し付けください(特殊な工具を必要とします)。
- 防水時計の一部にデザイン上、皮革バンドを使用しているモデルがありますが、皮革バンド付の状態、水仕事・水泳など直接水のかかるご使用は避けください。
- 時計が急冷された場合など、ガラスの内側が曇ることがありますが、すぐに曇りが無くなるようであれば特に問題はありません。
夏季に高温の室外から室内に入りエアコンの吹き出し口付近で冷気にさらされたり、冬季に暖かい室内から出て屋外の冷気や雪に触れた場合など、外気と時計内部の温度差が大きくなることによって曇る時間が長くなることがあります。
なお、曇りが消えなかったり、時計内部に水が残っている場合は、ただちにご使用をやめて、修理を「修理お申込み先」(「はじめにお読みください」を参照)またはお買い上げの販売店にお申し付けください。

●バンド

- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。
- バンドは、劣化やさびなどにより、切れたり外れたりすること、接合部のピンが飛び出したり抜け落ちたりすることがあります。これらは、時計の落下や紛失、けがの原因となります。バンドは常にお手入れをして清潔な状態でご使用ください。
- バンドに弾力性がなくなる、ひび割れ、変色、緩み、接合部のピンの飛び出しや抜け落ちなどの異常がある場合は、ご使用をやめてください。点検・修理(有償)や新しいバンドとの交換を、「修理お申込み先」(「はじめにお読みください」を参照) またはお買い上げの販売店にお申し付けください。

●温度

- 自動車のダッシュボードや暖房器具の近く等の高温になる場所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり、止まったり、故障の原因となります。
- +60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。液晶表示は、0℃以下や+40℃以上では、表示が見えにくくなる場合があります。

●ショック

- 通常の使用状態でのショックや軽い運動(キャッチボール、テニスなど)には十分耐えますが、落としたり、強くぶつけたりすると、故障の原因になります。ただし、耐衝撃構造の時計の場合(G-SHOCK/BABY-G/G-MS)は腕につけたままでチェーンソーなどの強い振動や、激しいスポーツ(モトクロスなど)でのショックを受けても時計には影響ありません。

●磁気

- アナログ時計やコンビネーション(アナログとデジタル)時計は、針を動かすために磁石の性質を利用したモーターを駆動させる方式を採用していますが、このモーターは強い磁気(オーディオ機器のスピーカー、磁気ネックレス、携帯電話など)を発生する器具に近づけるとモーターの回転に影響を受け、針の「遅れ・進み・止まり・誤った時刻表示」などの原因となります。
- 製品自体が磁気を帯びますと精度に影響を与えますのでお避けください。なお、極度に強い磁気(医療機器など)は誤動作や電子部品を破損する恐れがありますのでお避けください。

●静電気

- 静電気により誤った時刻を表示したりします。また、極度に強い静電気は、電子部品を破損する恐れがあります。
- 静電気により、一時的に液晶の点灯していない部分ににじみ現象が発生することがあります。

●薬品類

- シンナー、ガソリン、各種溶剤、油脂またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類等が付着すると、樹脂ケース、樹脂バンド、皮革などに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

●保管

- 長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などを拭き取り、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

●樹脂部品について

- 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が樹脂部品に移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに水分を拭き取り、他の製品に密着させたままにしないでください。
- 長時間、直射日光(紫外線)に当てたり、汚れが付着したまま放置すると色あせする場合があります。

- 塗装部品は、使用状況(過度の外力、連続したこすれ、衝撃等)により磨耗し色落ちしたりすることがあります。
- バンドにプリントがしてある場合は、プリント部分を強くこすると他の部分に色がつくことがあります。
- 蛍光商品は、長時間濡れたままにしておくと色が落ちる恐れがありますので、濡れているときはすぐに水分を拭き取って、乾かしてください。

- スケルトン(透明)仕様の部品は、汗や汚れ等の吸収や高温多湿への放置により変色を起こすことがあります。
- ご使用状態や保管環境により異なりますが、日々のご使用や長期保管によって劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。

●皮革バンドについて

- 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が皮革バンドに移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに柔らかい布などで軽く拭いて、他の製品に密着させたままにしないでください。
 - 長時間、直射日光(紫外線)に当てたり、汚れが付着したまま長時間放置すると色あせする場合があります。
- ご注意:**
皮革バンドは、摩擦・汚れにより色を移したり、色落ちすることがあります。

●金属部品について

- 金属は、ステンレスやメッキ品でも汚れたままご使用になりますと、さびが発生することがあります。汗をかいたときや水に濡らしたときは、柔らかい吸湿性の良い布などでよく拭き取った後に、通気性の良い場所に保管し、よく乾燥させてください。
- ときどき、柔らかい歯ブラシに中性洗剤を水で薄めた液や石鹸水をつけて、こすり洗いをしてください。その後、洗剤成分を水でよく洗い流し、柔らかい吸湿性の良い布などで水分を拭き取ってください。なお、洗うときは「調理用ラップを巻く」などして、時計本体に洗剤や石鹸水がかからないようにしてください。

●抗菌防臭バンドについて

- 抗菌防臭バンドは汗などによる細菌の増殖を抑え、においの発生を防ぎ、常に清潔で快適な装着感が得られます。抗菌・防臭の効果を上げるために、バンドの汚れ、汗、水分等は吸湿性の良い柔らかい布で拭き取り、常に清潔にしてご使用ください。抗菌防臭バンドは微生物や細菌の増殖を抑えるためのもので、アレルギー等による皮膚のかぶれ等を抑えるものではありません。

●液晶表示について

- 液晶表示は、見る方向によって表示が見えにくくなる場合があります。

●データ保護について

- 電池切れや電池交換および故障修理の場合、データ内容はすべて消えてしまいますのでご了承ください。また、故障・修理・電池交換等に起因するデータの消失による損害および逸失利益等につきましては、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。なお、大切なデータはノートなどに控えをとっておいてください。

●センサーについて

- 本機のセンサーは精密機器ですので、絶対に分解しないでください。また、センサー部を細い棒などでついたり、ゴミ・ほこりなどが入らないようにご注意ください。なお、海水に浸したときは、必ず真水で洗い流してください。

万一、本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

●お手入れについて

●お手入れのしかた

時計も衣類同様、直接身につけるものです。長くお使いいただくために、汚れ・汗・水分などは柔らかい布などでこまめに拭き取り、常に清潔な状態でご使用ください。

- 海水や泥がついた場合は、真水でよく洗い流してください。
- 金属バンドおよび樹脂バンドの金属部品は、柔らかい歯ブラシに中性洗剤を水で薄めた液や石鹸水をつけて、こすり洗いをしてください。その後、洗剤成分を水でよく洗い流し、柔らかい吸湿性の良い布などで水分を拭き取ってください。なお、洗うときは「調理用ラップを巻く」などして、時計本体に洗剤や石鹸水がかからないようにしてください。
- 樹脂バンドは、水で洗い、柔らかい布などで水分を拭き取ってください。また、樹脂バンドの表面にシミのような模様が発生することがありますが、人体および衣類への影響はありません。布などで拭き取ってください。
- 皮革バンドは、水や汗がついた場合には、柔らかい布などで軽く拭いてください。
- リゅうずやボタンや回転ベゼルは、長期間操作しないと動きが悪くなる場合があります。ときどき、リゅうずや回転ベゼルの回したり、ボタンを押したりしてください。

●お手入れを怠ると

〈さび〉

- 時計で使用している金属はさびにくい性質ですが、汚れによりさびが発生します。
 - － 汚れにより酸素が絶たれると、表面の酸化皮膜が維持できなくなり、さびが発生します。
- さびが発生すると、金属部分に鋭利な箇所ができたり、接合部のピンが飛び出したり抜け落ちたりすることがあります。異常に気がついた場合は、ご使用をやめて、修理(有償)を「修理お申込み先」(「はじめにお読みください」を参照)またはお買い上げの販売店にお申し付けください。
- 表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやさびがしみ出して、衣類の袖を汚したり、皮膚がかぶれたり、時計の性能が劣化することがあります。

〈劣化〉

- 樹脂バンドや樹脂ベゼルは、汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に放置すると経年劣化し、切れたり折れたりすることがあります。

〈かぶれ〉

- 皮膚の弱い方や体調により、かぶれたりすることがあります。特に、皮革バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをしてください。万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

●本製品で使用している電池について

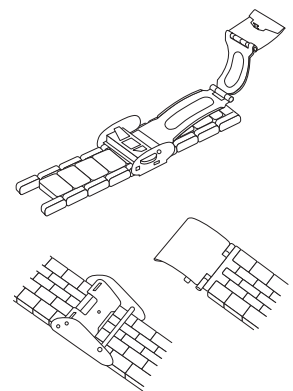
- 専用の二次電池を使用しておりますので、お客様は電池を取り外さないでください。専用の二次電池以外の電池を入れると時計の破損の原因になります。
- 二次電池は、ソーラーパネルが受ける光により充電されますので、一次電池のような定期的な電池交換の必要はありません。ただし、二次電池は長期的なご使用や使用環境により容量や充電効率が低下しますので、充電しても「使用できる時間が短くなった」と感じたときは、「修理に関するお問合せ先」(「はじめにお読みください」を参照)またはお買い上げの販売店にご相談ください。ご希望により保証期間経過後は有料で充電点検調整いたします。

●金属バンドの駒詰めについて

金属バンド(フリータイプの中留構造バンド*を除く)の駒詰めには専用の工具が必要となります。お取り扱いによる、部品の変形や破損、またはけが等を予防するためにも、お買い上げの販売店にご相談ください。なお、「修理お申込み先」(「はじめにお読みください」を参照)においても保証期間内は無償、保証期間経過後は有償にて承っております。詳しくは、「修理に関するお問合せ先」(「はじめにお読みください」を参照)へお問い合わせください。

* 中留をスライドさせて長さ調整するフリータイプのバンドでは、駒の取り外しはできません。

(例)



モバイルリンク機能に関する注意事項

● 法律上のご注意

- 本機は、各国、地域の電波法の適合または認証を取得しております。電波法の適合または認証を取得していないエリアでご使用になると罰せられることがあります。詳しくは、カシオホームページをご覧ください。
<https://world.casio.com/ce/BLE/>
- 各国の航空法により、航空機内でのご使用は制限されています。航空会社の指示に従ってください。

● 安全上のご注意

⚠ 警告 無線について

- 病院内や航空機内では、病院や航空会社の指示に従ってください。本機からの電磁波などが計器類に影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。
- 高精度な電子機器または微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、使用しないでください。電子機器が誤作動するなどの影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。
- ペースメーカーなどをご使用の方は、本機を胸部から離してご使用ください。ペースメーカーなどに磁力の影響を与えることがあります。万一異常を感じたら直ちに本機を体より離し、医師に相談してください。

● モバイルリンク機能使用上のご注意

- スマートフォンは、本機の近くに置いてご使用ください。2m 以内が目安です。ただし、周囲の環境（壁、家具など）や建物の構造によっては、通信可能距離が極端に短くなることがあります。
- 本機は、他の機器（電気製品、AV 機器、OA 機器など）の影響を受けることがあります。特に動作中の電子レンジには影響を受けやすく、その近くでは本機が正常に通信できないことがあります。逆に本機の影響で、テレビやラジオに雑音が入ったり、映像が乱れたりすることがあります。
- 本機の Bluetooth は無線 LAN 対応機器と同一の周波数帯（2.4GHz）を使用しているため、お近くで使用すると電波干渉が発生し、本機と無線 LAN 対応機器の双方で通信速度の低下や雑音、通信不能の原因となる場合があります。

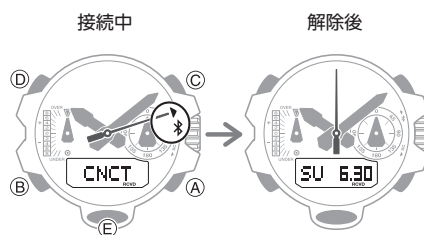
● 本機からの電波を止める必要があるときは

秒針が  を指しているときは、本機は電波を発信しています。また、以下のときに自動で時計とスマートフォンが接続します。

- 自動時刻修正（1 日 4 回）
- ミッションログ機能がオンのとき（1 時間ごとのデータ転送）

病院内や航空機内など、電波の使用を禁止された区域でお使いになるときは、以下のようにご対応ください。

- 電波の発信を止める
いずれかのボタンを押して Bluetooth 接続を解除してください。



- 自動時刻合わせを無効にする
CASIO WATCHES で時計とスマートフォンを同期しないように設定してください。
 病院内、飛行機内で使うとき

無線に関するご注意

- 本機は、電波法に基づいて工事設計認証を受けています。無線局の免許は不要です。
- 本機は、工事設計認証を受けています。以下の事項は法律で罰せられることがあります。
 - 分解および改造すること
- 無線 LAN は、本機と同じ周波数帯（2.4GHz）を使用しています。これらを利用した製品と本機との間で、互いに電波障害を与えることがあります。
- 下記のような環境では、電波状態が悪くなったり、電波が届かなくなったりします。
 - 電子レンジ等の磁場、静電気、不要輻射電波の発生する機器の近く
 - 鉄筋コンクリート（マンションなど）や鉄骨構造の建物内
 - 大型金属製家具の近く
 - 各無線機器の間に人が入ったり、間を人が横切るとき、腕を組んだりしたとき
 - 腕時計とスマートフォン等が別々の部屋にある場合（障害物がある場合）
- 電波を使用している関係上、第三者が故意または偶然に傍受することも考えられます。機密を要する重要な事柄や人命に関わることに使用しないでください。

<以下、ARIB（一般社団法人 電波産業会）に準ずる>

- 本機は 2.4GHz 帯を使用し、変調方式は DS-SS/FH-SS/OFDM 方式、DS-FH、FH-OFDM 複合方式以外の“その他の方式”です。また、想定される干渉距離は約 10m です。

2.4 XX1

- 本機の使用周波数帯（2.4GHz）では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機と移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局との間で、電波干渉が発生した場合には、速やかに通信チャンネルを変更するか、使用する場所を変えるか、本機の使用を停止してください。
3. 不明な点がある場合やお困りの場合は、お買い上げの販売店または「修理に関するお問合せ先」（「はじめにお読みください」を参照）にお問い合わせください。

はじめに

時計の概要と、便利な使い方を紹介します。

●本製品の特長

●スマートフォンと通信

Bluetooth 対応のスマートフォンと接続し、通信することができます。

●ソーラー充電

太陽や照明の光によって発電し、電気エネルギーを充電しながら動きます。

●電波受信

時刻情報を乗せた電波を受信し、正確な時刻を表示します。

●ワールドタイム

世界 55 都市 (38 タイムゾーン)*と UTC の時刻を表示できます。

* スマートフォンとの接続で更新される場合があります。

●アラーム

設定した時刻になると、アラーム音を鳴らしてお知らせします。

●方位計測

北の方向や目標の方位を調べることができます。

●高度計測

現在地の高度を計測できます。
日時や高度を記録できます。
2 点間の高度差を計測できます。

●気圧計測

気圧傾向の表示、注意すべき気圧変化の通知もできます。

●温度計測

現在の気温を計測できます。

●高度記録の確認

高度計測で記録したデータの確認や削除ができます。

●日の出/日の入り時刻

日付を指定して、日の出/日の入り時刻を調べることができます。

●ストップウォッチ

1/100 秒単位で 24 時間まで計測できます。

●タイマー

設定時間をカウントダウン計測し、残り時間が 0 になるとタイムアップ音を鳴らしてお知らせします。

重要

● 専門的な計測器ではありません。計測機能は、目安としてお使いください。

● 方位計を本格的な登山などでご使用になるときは、必ず予備のコンパス (方位磁針) を携帯してください。予備のコンパスと比較して計測した方位が異なる場合は、正しい方位を計測するため、3 点補正または 8 の字補正をしてください。

– 永久磁石 (磁気アクセサリなど)、金属類、高圧線、架線、家庭電化製品 (テレビ、パソコン、携帯電話など) の近くのような、強い磁力がある場所では正しく計測や補正ができません。

📍 方位計測

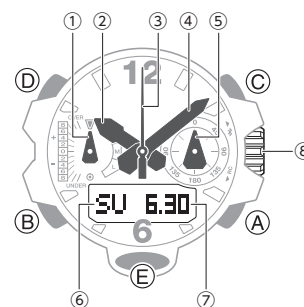
● 高度計は、計測した気圧を高度に換算した値を表示します (相対高度計)。そのため標高や海拔高度とは異なる値を表示することがあります。こまめに補正しながら計測することをおすすめします。

📍 高度計測

参考

● この操作ガイドに記載しているイラストは、視認性を考慮して実際のものと異なる描写をしているものがあります。ご了承ください。

各部の名称



- ① 機能針
- ② 時針
- ③ 秒針
- ④ 分針
- ⑤ 方位針
- ⑥ 曜日
- ⑦ 月・日
- ⑧ りゅうず

A ボタン

時刻モード表示中に押すと、高度計測モードに切り替わります。

B ボタン

押すごとに、モード (機能) が切り替わります。どのモードでも、2 秒以上押し続けると、時刻モードに戻ります。

C ボタン

時刻モード表示中に押すと、方位計測モードに切り替わります。

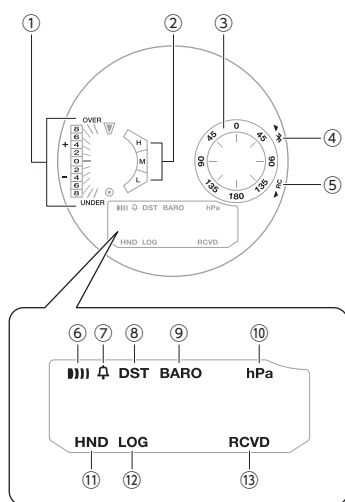
D ボタン

時刻モード表示中に押すと、画面の表示切り替えができます。

E ボタン

押すと、ライトが点灯します。

文字板と画面の表示

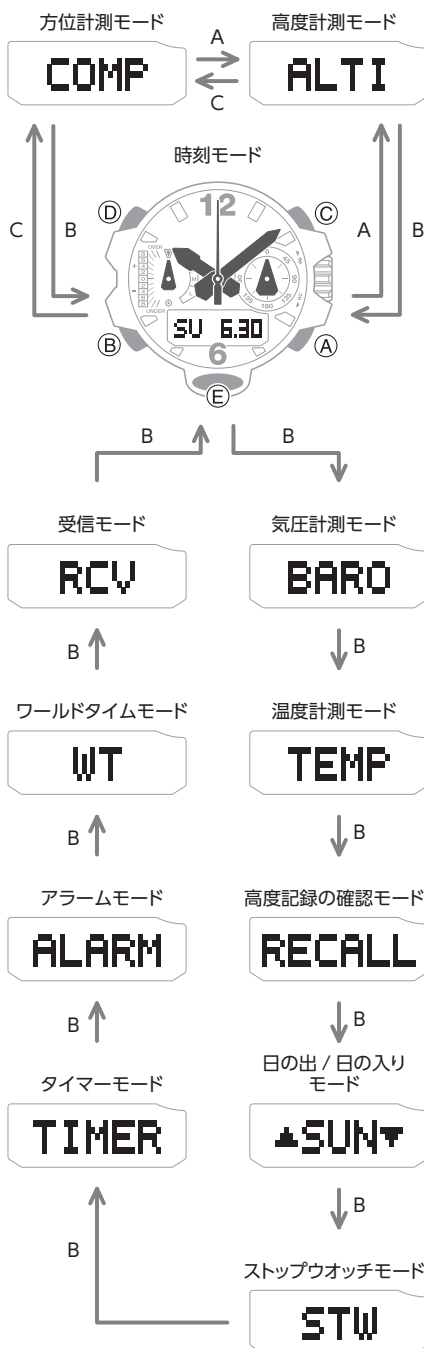


- ① 高度差/気圧差を機能針が示します。
- ② 時刻モードに切り替えたとき、機能針が充電量を示します。
- ③ 記録した目標方位(ベアリングメモリー)/記録した現在位置情報(ロケーションメモリー)の方位を方位針が示します。
- ④ スマートフォンと接続中のときに秒針が の隣の を示します。
- ⑤ スマートフォンと接続待機中に秒針が [RC] の隣の を示します。
- ⑥ アラームをオンにすると点灯します。
- ⑦ 時報をオンにすると点灯します。
- ⑧ 時刻が夏時間のときに点灯します。
- ⑨ 気圧傾向インフォメーションをオンにすると点灯します。
- ⑩ 気圧の単位が点灯します。
- ⑪ 針が退避した状態になっているときに点滅します。
- ⑫ ミッションログ機能がオンのときに点灯します。
- ⑬ 標準電波を受信、またはスマートフォンと接続して時刻合わせに成功したときに表示します。
以下のとき [RCVD] は消灯します。
 - 時計を操作してホーム都市の設定(日時、都市、サマータイム)を変更した
 - 時計がサマータイム期間を判断して時刻を更新した
 - 標準電波の受信に失敗した
 - スマートフォンによる時刻合わせに失敗した

モードを切り替える

この時計には、以下のモード(機能)があります。

- どのモードで操作していても、B ボタンを2秒以上押し続けると、時刻モードに戻ります。



モードは、上記イラスト内に記載のボタンで切り替えます。

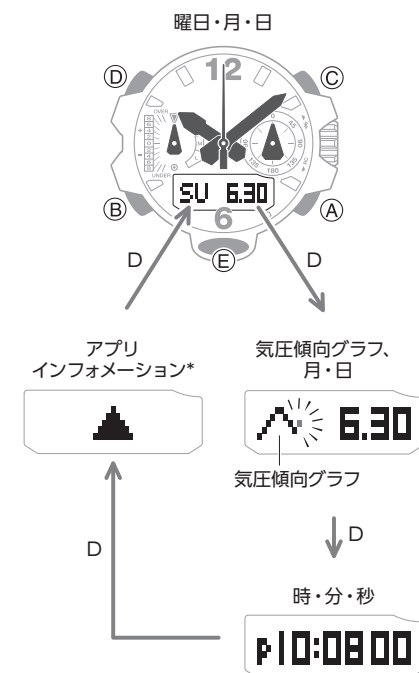
各モードの概略

●時刻モード

現在の曜日・月・日を表示します。

D ボタンを押して、以下の項目を表示することもできます。

- 気圧傾向グラフ、月・日
- 時・分・秒
- アプリインフォメーション*



* アプリインフォメーション画面は、CASIO WATCHES の更新情報などがある場合にのみ表示されます。このとき、機能針は を示します。
アプリインフォメーションの画面は一例です。

参考

- CASIO WATCHES から操作をする前に、スマートフォンとのペアリングが必要です。
[🔗 ③ ペアリングする](#)
- アプリインフォメーション画面で D ボタンを押して表示を切り替えると、「充電レベル(H/M/L)・TIME」を約1秒間表示後、「曜日・月・日」を表示します。

重要

- CASIO WATCHES の更新情報などを画面に表示するには、あらかじめアプリインフォメーション受信の設定をオンにする必要があります。
[🔗 CASIO WATCHES の更新情報などを時計で受信する](#)

ペアリングしているスマートフォンと接続して時刻を合わせる

A ボタンを押します。

🔗 [すぐに時刻を合わせたい](#)

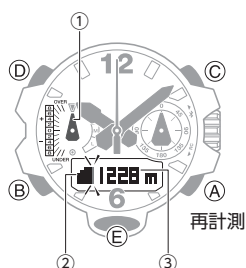
アプリインフォメーション画面について

- 時刻合わせのタイミングで、CASIO WATCHES の更新情報などを画面に表示できます。
- 時刻モードで CASIO WATCHES の更新情報などを受信すると、アプリインフォメーション画面に自動で切り替わります。
- アプリインフォメーション画面は、午前 0 時になると自動的に切り替わる前の表示に戻ります。

●高度計測モード

現在地の高度を計測します。

🔗 [高度計測](#)

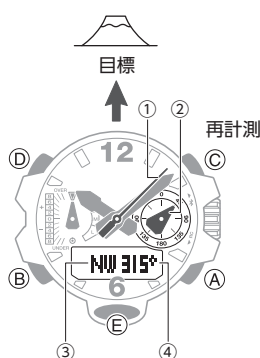


- ① 高度差
- ② 高度傾向グラフ
- ③ 高度

●方位計測モード

方位や角度を計測します。

🔗 [方位計測](#)

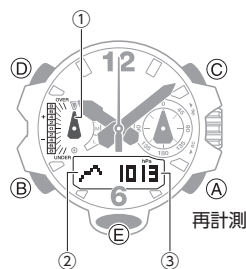


- ① 北方位
- ② ペアリングメモリー/ロケーションメモリーの方位角
- ③ 12 時方向の方位
- ④ 12 時方向の方位角

●気圧計測モード

現在地の気圧を計測します。

🔗 [気圧計測](#)

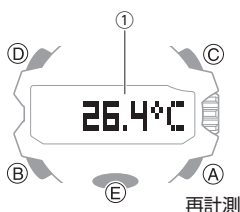


- ① 気圧差
- ② 気圧傾向グラフ
- ③ 気圧

●温度計測モード

現在の温度を計測します。

🔗 [温度計測](#)

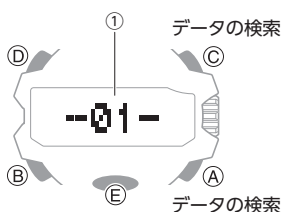


- ① 温度

●高度記録の確認モード

計測した高度記録を確認できます。

🔗 [高度記録の確認](#)

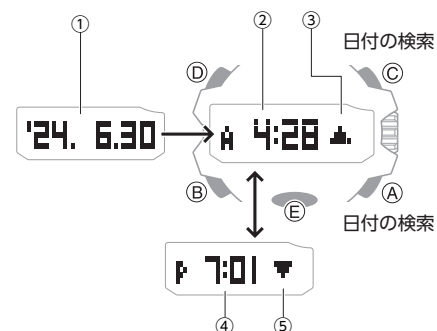


- ① 前回表示していたデータ

●日の出/日の入りモード

ホーム都市の日の出と日の入りの時刻を表示します。

🔗 [日の出/日の入り時刻](#)

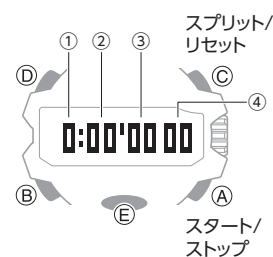


- ① 年・月・日
- ② 日の出時刻
- ③ 日の出
- ④ 日の入り時刻
- ⑤ 日の入り

●ストップウォッチモード

経過時間を計測します。

🔗 [ストップウォッチ](#)

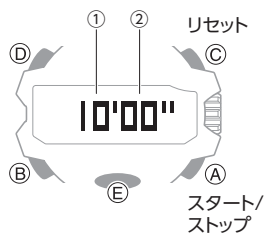


- ① ストップウォッチ時
- ② ストップウォッチ分
- ③ ストップウォッチ秒
- ④ ストップウォッチ 1/100 秒

●タイマーモード

タイマーを計測します。

🔍 タイマー



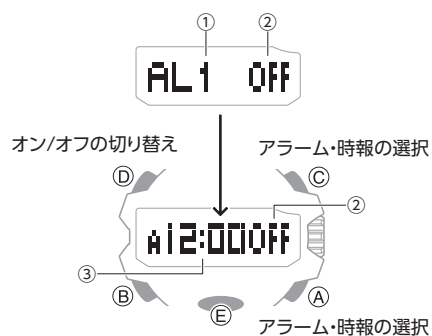
① タイマー分

② タイマー秒

●アラームモード

指定した時刻に音でお知らせします。

🔍 アラーム



① アラーム番号

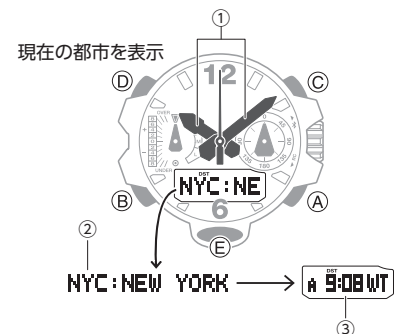
② アラーム・時報のオン/オフ

③ アラーム時・分

●ワールドタイムモード

世界 55 都市と UTC (協定世界時) の時刻を表示します。

🔍 ワールドタイム



① ホーム都市の時刻

② ワールドタイム都市

③ ワールドタイム都市の時刻

●受信モード

手動で電波を受信します。

🔍 標準電波で時刻を合わせる



① 受信状態レベル

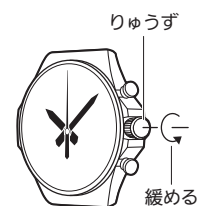
ペアリングしているスマートフォンを探す

A ボタンを約 5 秒間押し続けます。

🔍 スマートフォンを探す

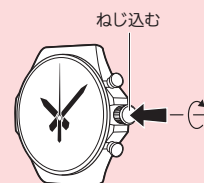
リゅうずを使う

リゅうずは、ねじ込み式になっています (ねじロック式リゅうず)。お使いになるときは、リゅうずを左回しにして、ねじ込みを緩めてください。



重要

- 防水性能の低下や衝撃を受けたときの損傷を防ぐため、操作が終わったら、リゅうずを押しながら右に回して必ずねじ込みをしてください。



- リゅうずを戻すときは、強く押し過ぎないようにご注意ください。

●早送り/早戻しする

リゅうずを引いた状態で素早く繰り返し回すと早送りまたは早戻しができます。時計を操作して手動で時刻を合わせているとき、早送り中に再度リゅうずを素早く繰り返し回すと、時針と分針の動きが速くなります。

●早送り/早戻しを解除する

リゅうずを逆方向に回す、またはボタンを押します。

参考

- リゅうずを引いた状態で 2 分以上何も操作しないと、操作が効かなくなります。その場合は、リゅうずをいったん戻し、再度引いてください。リゅうずを引いた後の操作が無効である場合は、リゅうずを引いた直後に以下の表示が出ます。この場合はリゅうずを戻してロックしてください。

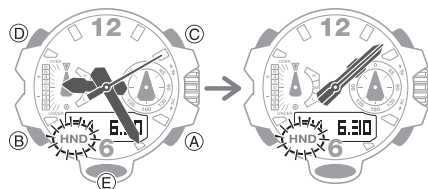
PUSH PUSH

針を一時的に移動する

針を一時的に移動させて、画面など他の表示を見やすくすることができます。

1. E ボタンを押しながら、B ボタンを押します。

画面が見えやすい位置に針が移動します。



2. もう一度、E ボタンを押しながら B ボタンを押す、または B ボタンを押してモードを切り替えると、針が通常の位置 (時刻表示) に戻ります。

参考

- 針が退避している状態で何も操作をしないまま約 1 時間経過すると、針は現在時刻の位置に戻ります。

充電する

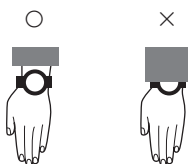
この時計は、ソーラーパネルで発電した電気をバッテリー (二次電池) に充電しながら動作します。ソーラーパネルは文字板と一体になっており、文字板に光が当たっているときは常に発電し充電しています。

●充電する

時計を腕から外しているときは、光が当たる明るい場所に置いて充電してください。



腕につけているときは、文字板 (ソーラーパネル) に衣類の袖がかからないように心がけてください。文字板 (ソーラーパネル) が一部でも隠れていると発電効率が低下します。

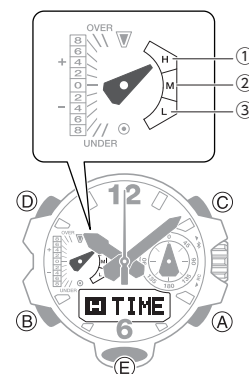


重要

- 充電の際、光源の条件や環境によっては時計本体が非常に高温になり、火傷を負ったり、時計内部の部品が破損する原因となります。
以下のような 60°C 以上になる可能性がある場所での充電は避けてください。
 - 炎天下に駐車している車のダッシュボードの上
 - 白熱灯、撮影用ライト、ハロゲンランプなどの発熱体に近い所
 - 直射日光が長時間当たり高温になる所
- 極端な高温下では液晶パネルが黒く (液晶タイプによっては白く) なることがあります。温度が下がれば正常に戻ります。

●充電量を確認する

時刻モードに切り替えたときの画面の表示と機能針の位置で、充電量を確認できます。



- ① 良好 (充電レベル 1)

- ② 良好 (充電レベル 2)

- ③ 充電不足 (充電レベル 3)

- 充電レベル 4 と充電レベル 5 は、時刻モードに切り替えなくても現象が現れます。

充電レベル 1: 良好

すべての機能を使えます。



充電レベル 2: 良好

すべての機能を使えます。



充電レベル 3: 充電不足

以下の機能が使用できません。また、秒針が 2 秒ごとに動きます。

- 電波受信
- 方位計測、高度計測、気圧計測、温度計測
- ライト点灯
- 音 (アラームなど)
- スマートフォンとの接続

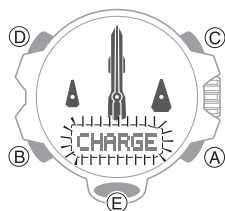


↓ 1秒後



充電レベル 4: 充電不足

レベル 3 よりも充電量が減ると、すべての機能が使えなくなります。また、すべての針が停止します。



充電レベル 5: 充電切れ

すべての針が停止して、液晶画面の表示が消灯します。また、データがすべて消去され、設定がお買い上げ時の状態に戻ります。

重要

- 充電不足や充電切れになったときは、文字板（ソーラーパネル）に光を当てて速やかに充電してください。

参考

- [RECOVER] が点滅しているときは、一時的な電池消耗により、すべての機能が使用できなくなります。
🔍 [RECOVER] が点滅している
- 充電が切れた状態で光に当て続けると、[CHARGE] が表示されます。これは充電を開始したことを示します。

● 充電時間の目安

充電時間の目安として、下の表をご活用ください。

1 日、使用するに必要な充電時間

光量 (ルクス)	充電時間
50,000	8 分
10,000	30 分
5,000	48 分
500	8 時間

充電量の回復に必要な時間

- 晴れた日の屋外など (50,000 ルクス)

充電切れ → 充電量: 中	2 時間
充電量: 中 → 充電量: 高	20 時間
充電量: 高 → 満充電	6 時間

- 晴れた日の窓際など (10,000 ルクス)

充電切れ → 充電量: 中	6 時間
充電量: 中 → 充電量: 高	73 時間
充電量: 高 → 満充電	20 時間

- 曇りの日の窓際など (5,000 ルクス)

充電切れ → 充電量: 中	9 時間
充電量: 中 → 充電量: 高	119 時間
充電量: 高 → 満充電	32 時間

- 蛍光灯下の室内など (500 ルクス)

充電切れ → 充電量: 中	104 時間
充電量: 中 → 充電量: 高	—
充電量: 高 → 満充電	—

参考

- 実際の充電時間は、環境や時計の設定などによって異なります。

● 節電 (パワーセービング機能)

午後 10 時から午前 5 時 50 分の間に、時計を暗い場所に約 1 時間置いておくと画面の表示が消えて、レベル 1 の節電状態になります。この状態が 6~7 日続くと、レベル 2 の節電状態になります。

節電レベル 1:

秒針のみ 12 時位置で停止して、画面表示を消して節電します。スマートフォンと接続することはできません。

節電レベル 2:

すべての針が停止して、画面表示を消して節電します。すべての機能を使用できません。

節電状態を解除する

以下の方法で、節電状態を解除します。

- いずれかのボタンを押す
- 時計を明るい場所に置く
- 時計を傾けてオートライト機能を作動させる

参考

- 時計が以下のときは、節電状態になりません。
 - ストップウォッチモード
 - タイマーモード
 - 気圧傾向インフォメーションを設定しているとき
- パワーセービング機能のオン/オフを切り替えることができます。
🔍 [パワーセービング機能を設定する](#)
- 時計を装着している場合でも、ソーラーパネルが袖などに隠れていると節電状態になることがあります。

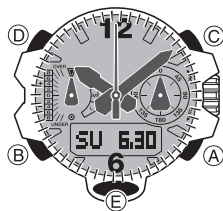
暗い所で時計を見る

暗い所で時計の表示を見るときに、ライトを点灯することができます。

●手動でライトを点灯させる

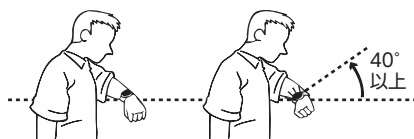
E ボタンを押すと、ライトが点灯します。

- ライト点灯中にアラーム音が鳴る、またはりゅうずを操作すると、消灯します。
- 電波受信中、針の移動中は、ライトが点灯しません。また、センサー計測中もタイミングにより点灯しません。



●自動的にライトを点灯させる

オートライト機能がオンのときは、時計を 40° 以上傾けると、ライトが点灯します。



重要

- 以下の図のように、時計が水平状態から 15°以上傾いていると、点灯しにくくなります。



- 静電気や磁気の影響でオートライトが作動しないことがあります。その場合、もう一度時計を水平状態にしてから傾けてください。
- 時計を傾けたとき、内部から「カラカラ」と音がする場合があります。これは、オートライトスイッチの作動音で、故障ではありません。

参考

- 以下の状態のとき、オートライト機能は作動しません。
 - アラーム音やタイマー音などが鳴っているとき
 - 針が移動しているとき
 - 方位計測モードのとき
 - 電波を受信しているとき

●オートライト機能を設定する

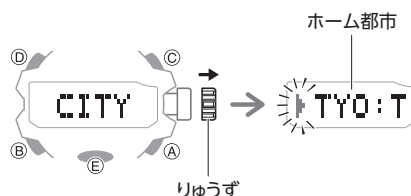
オートライト機能のオンとオフを切り替えることができます。

1. 時刻モードにします。

🕒 モードを切り替える

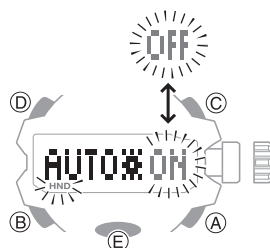
2. りゅうずを緩めてから引きます。

現在設定しているホーム都市を表示します。



3. B ボタンを 3 回押します。

[AUTO*] が点灯し、[ON] または [OFF] が点滅します。



4. りゅうずを回して、オートライト機能のオンとオフを切り替えます。

5. りゅうずを戻し、ロックします。

参考

- りゅうずを引いた状態で 2 分以上何も操作しないと、操作が効かなくなります。その場合は、りゅうずをいったん戻し、再度引いてください。

●点灯時間を設定する

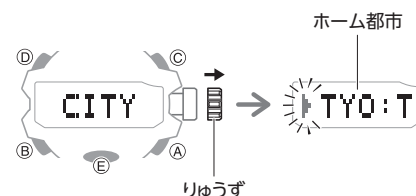
ライトの点灯時間は、1.5 秒と 3 秒のどちらかを選ぶことができます。

1. 時刻モードにします。

🕒 モードを切り替える

2. りゅうずを緩めてから引きます。

現在設定しているホーム都市を表示します。



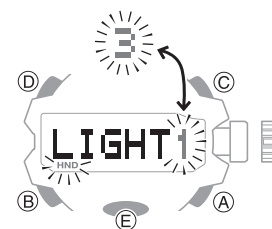
3. B ボタンを 4 回押します。

[LIGHT] が点灯し、[1] または [3] が点滅します。

4. りゅうずを回して、点灯時間を選びます。

[1] : 1.5 秒点灯します。

[3] : 3 秒点灯します。



5. りゅうずを戻し、ロックします。

参考

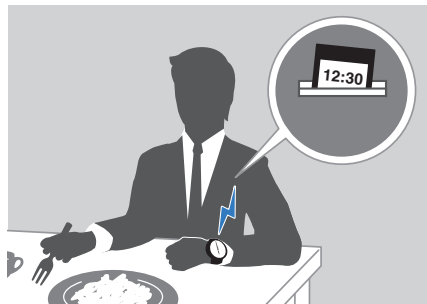
- りゅうずを引いた状態で 2 分以上何も操作しないと、操作が効かなくなります。その場合は、りゅうずをいったん戻し、再度引いてください。

本機の便利な使い方

本機とスマートフォンをペアリングすることで、時計のさまざまな機能を簡単に使うことができます。

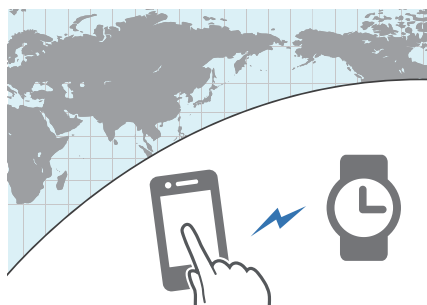
時刻を自動で合わせます

📌 時計の時刻を自動で合わせる



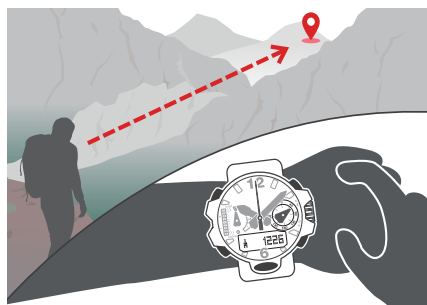
300 以上の都市の中から選ぶことができます

📌 ワールドタイムを設定する



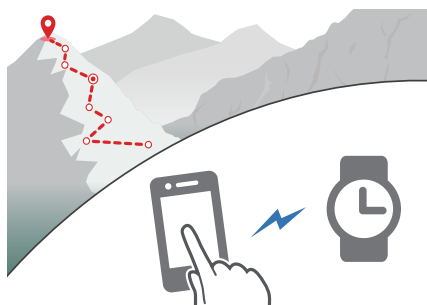
スマートフォンで記録したメモリー地点までの距離と方位を確認できます

📌 メモリー地点までの距離と方位を確認する
(ロケーションインジケータ機能)



スマートフォンと連動し、移動した場所の高度と経路を記録できます

📌 移動した場所の高度と経路を記録する
(ミッションログ機能)



その他、時計のさまざまな設定がスマートフォンで操作できます。

まずは、時計とスマートフォンをペアリングしてください。

📌 準備する

- 時計とスマートフォンをペアリングするには、カシオオリジナルのアプリケーション「CASIO WATCHES」をスマートフォンにインストールする必要があります。

スマートフォンと一緒に使う

時計とスマートフォンを Bluetooth で接続することで、時計の時刻を自動で合わせたり、時計の設定を変更したりできます (モバイルリンク機能)。

参考

- この機能は、CASIO WATCHES が起動しているときのみ使用できます。
- この章では、時計とスマートフォンを操作します。
📌 : 時計を操作します。
📱 : スマートフォンを操作します。

準備する

スマートフォンと一緒にお使いになるには、時計とスマートフォンをペアリングする必要があります。以下の手順でペアリングをしてください。

●① アプリケーションをインストールする

Google Play または App Store で、カシオオリジナルのアプリケーション「CASIO WATCHES」を検索して、スマートフォンにインストールしてください。

●② Bluetooth を設定する

スマートフォンの Bluetooth 設定をオンにします。

参考

- 設定方法の詳細についてはスマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

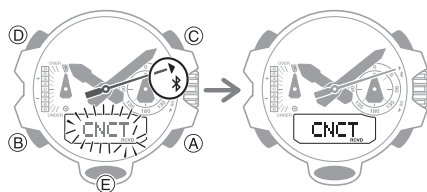
●③ ペアリングする

時計とスマートフォンを一緒に使うには、最初にペアリングする必要があります。

1. ペアリング相手のスマートフォンを、時計の近く (1m 以内を推奨) に置きます。
2. [CASIO WATCHES] アイコンをタップします。
3. [マイウォッチ] タブの [+] をタップします。
4. 画面に従って操作して、時計を CASIO WATCHES に登録します。
5. B ボタンを 5 秒以上押し続け、秒針が * を示し、[CNCT] が点滅したら指を離します。
 - 時計とスマートフォンが接続すると、[CNCT] が点滅から点灯に変わります。
 - ペアリングに失敗すると、[ERR] を表示した後、時刻モードに戻ります。ペアリングを最初からやり直してください。

ペアリング開始

ペアリング完了



参考

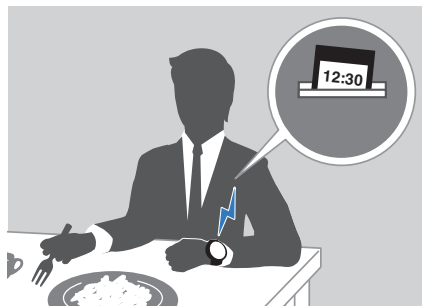
- CASIO WATCHES を初めて起動したときに、位置情報の使用を許可するかどうかのメッセージがスマートフォンの画面に表示されます。位置情報をバックグラウンドでも使用できるように設定してください。

時計の時刻を自動で合わせる

毎日決まった時刻にスマートフォンと接続して、時計の時刻を自動で合わせます。

●使い方

この時計は 1 日に 4 回の時刻合わせがスケジュールされています。時刻モードにしておけば、(イラストのように) 普段の生活の中で自動的に時刻を合わせるので、そのままお使いになります。



重要

- 以下のような場合は、自動で時刻を合わせることができないことがあります。
 - スマートフォンと時計が離れた場所にある
 - 電波干渉などで通信できない
 - スマートフォンのシステム更新を実行している
 - CASIO WATCHES が終了している

参考

- スマートフォンと接続しても時計が正しい時刻を示さない場合は、針を補正してください。
 針の位置を補正する
- CASIO WATCHES でワールドタイム都市を設定している場合、ワールドタイムの時刻も自動で合います。
- 時刻合わせのタイミングは、午前 12 時半頃、午前 6 時半頃、午後 12 時半頃、午後 6 時半頃で、それぞれの時刻になると自動で接続して時刻が合います。時刻合わせが終了すると自動で接続が解除されます。
- 1 日以上スマートフォンとの接続による自動時刻修正ができなかった場合は、標準電波を自動で受信します。

●すぐに時刻を合わせたい

時計とスマートフォンを接続すると、時計の時刻を合わせることができます。今すぐ時計の時刻を合わせたいときは、以下の手順で時計とスマートフォンを接続します。

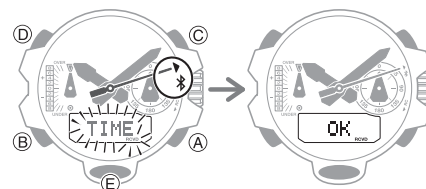
1. 受信モードにします。
 モードを切り替える
2. スマートフォンを、時計の近く (1m 以内を推奨) に置きます。
3. A ボタンを押します。

[TIME] が点滅してスマートフォンとの接続が始まります。時計と、スマートフォンが接続すると [OK] が表示された後、時刻情報を取得して時計の時刻が合います。

- このとき、現在位置がスマートフォンに記録されます。

接続開始

時刻修正後



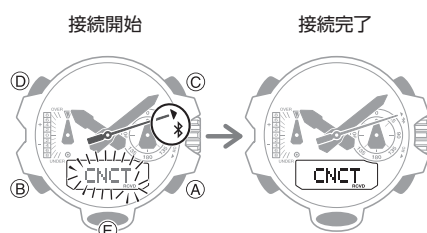
参考

- 時刻合わせが終わると、接続が終了します。
- 時刻合わせが失敗すると、[ERR] が表示されます。
- 接続が始まると [RCVD] が点滅し、時刻合わせが完了すると、[RCVD] が点灯します。

CASIO WATCHES の更新情報などを時計で受信する

時計とスマートフォンを接続して時計の時刻を合わせたときに、CASIO WATCHES の更新情報などを時計で受信できます。

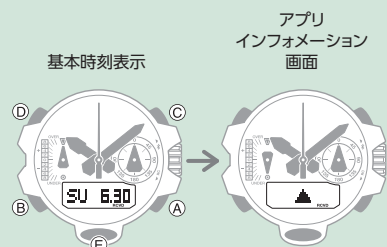
1. [CASIO WATCHES] アイコンをタップします。
2. B ボタンを 5 秒以上押し続け、秒針が  を示し、[CNCT] が点滅したら指を離します。
 - 時計とスマートフォンが接続すると、[CNCT] が点滅から点灯に変わります。
 - 接続に失敗すると、[ERR] を表示した後に時刻モードに戻ります。



3. 画面に従って操作して、アプリインフォメーション受信機能をオンにします。

参考

- アプリインフォメーション受信機能をオンにすると、以下のタイミングで CASIO WATCHES の更新情報などを時計で受信します。
 - 1 日に 4 回の自動時刻合わせのとき
 - 時刻モードで A ボタンを押して、時刻を合わせたとき
 - B ボタンを 5 秒以上押し続けて、時計とスマートフォンを接続したとき
- 時刻モードで CASIO WATCHES の更新情報などを受信すると、アプリインフォメーション画面に自動で切り替わります。



モードを設定する (モードカスタマイズ)

CASIO WATCHES で、モードの並び替えとモードの削除または追加を設定し、時計に反映できます (モードカスタマイズ)。

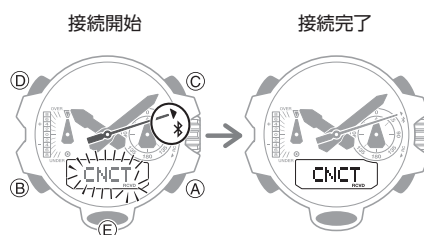
重要

- 時計では、モードカスタマイズはできません。CASIO WATCHES で設定してください。

並び替えや削除ができるモードは以下の通りです。

- 気圧計測モード
- 温度計測モード
- 高度記録の確認モード
- 日の出/日の入りモード
- ストップウォッチモード
- タイマーモード
- アラームモード
- ワールドタイムモード

1. [CASIO WATCHES] アイコンをタップします。
2. B ボタンを 5 秒以上押し続け、秒針が  を示し、[CNCT] が点滅したら指を離します。
 - 時計とスマートフォンが接続すると、[CNCT] が点滅から点灯に変わります。



3. 画面に従って操作して、モードの設定をします。

参考

- モード数の増減により、モードの機能や設定が変わる場合があります。
- 気圧計測モードを削除しても、時刻モードの画面表示で気圧グラフは表示できます。

●モードカスタマイズを初期化する

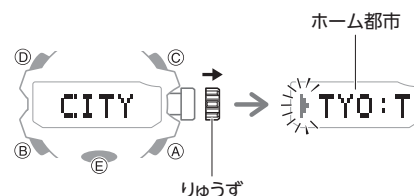
重要

- モードカスタマイズを初期化すると、時計の各種設定も初期化されます。

参考

- ミッションログ機能がオンのときは、モードカスタマイズの初期化はできません。

1. 時刻モードにします。
 **モードを切り替える**
2. リゅうずを緩めてから引きます。
 現在設定しているホーム都市を表示します。



3. A ボタンを 7 秒以上押し続け、[CLEAR] が点滅から点灯に変わったら指を離します。
 モードカスタマイズが初期化されます。
4. リゅうずを戻し、ロックします。

現在の位置情報を記録する(ロケーションメモリー)

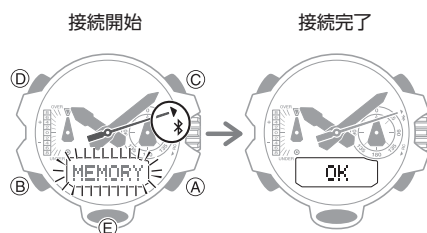
CASIO WATCHES を使って、現在の位置情報を記録することができます。

1. 「CASIO WATCHES」アイコンをタップします。
2. 方位計測モードにします。
モードを切り替える

3. C ボタンを 5 秒以上押し続け、[MEMORY] が点滅し、秒針が 3 を示したら指を離します。

時計とスマートフォンが接続し、位置情報取得に成功すると、[MEMORY] から [OK] に変わります。

- 接続に失敗すると、[ERR] を表示します。
- 位置情報の取得に失敗すると、[FAILED] → [POSITION] の順で表示します。



4. 画面に従って操作して、記録した位置情報を確認します。

- 記録される位置情報は 1 件のみです。すでにデータがある場合は、データを上書きします。

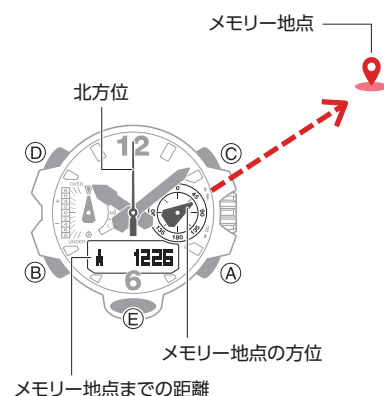
参考

- ロケーションメモリー機能で記録した位置情報は、CASIO WATCHES で他の地点に変更できません。中国では、この操作はできません。
- ロケーションメモリー機能で位置情報を記録すると、記録した位置までの距離と方位をロケーションインジケータ機能で確認できます。
メモリー地点までの距離と方位を確認する(ロケーションインジケータ機能)

メモリー地点までの距離と方位を確認する(ロケーションインジケータ機能)

スマートフォンで現在の位置情報を取得し、ロケーションメモリー機能で記録した地点と現在位置の距離と方向の情報を時計で表示します。

1. 現在の位置情報を記録する(ロケーションメモリー)



重要

- ロケーションインジケータ機能を使用中は、CASIO WATCHES の操作はできません。

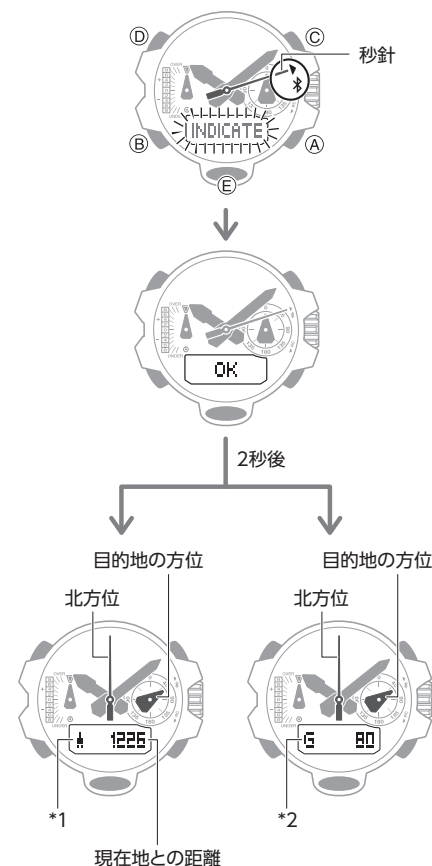
1. 「CASIO WATCHES」アイコンをタップします。

2. 方位計測モードにします。
モードを切り替える

3. C ボタンを 2 秒以上押し続け、[INDICATE] が点滅し、秒針が 3 を示したら指を離します。

時計とスマートフォンが接続し、位置情報取得に成功すると、[INDICATE] から [OK] に変わります。

2 秒後に、記録した位置に対しての現在位置との距離を表示し、方位針は目的地の方位を示します。



*1 方位針が目的地方向の 30° 以内の範囲を示しているとき、[H] が点滅します。

*2 目的地までの距離が 80m 以内になると [G] が点灯します。目的地までの距離が 161m 以上になると、[G] 点灯は解除されます。

4. 表示された現在地との距離と目的地の方位を確認します。

参考

- ロケーションインジケータ機能の有効時間は3分です。
- 10秒ごとまたはCボタンを押すことにより、スマートフォンに接続して位置情報を取得すると、メモリー地点までの距離と方位が更新されます。
- ロケーションインジケータ機能を有効にしてから3分後、またはC、E以外のボタンを押すと、機能を中止します。
- ロケーションインジケータ機能が有効になっている間にCまたはEボタンを押すと、その操作から3分間機能が有効になります。
- Cボタンを押してデータ更新すると、データが更新されるまで[TRY]を表示します。
- 以下の場合、[FAIL]を表示します。
 - 最後の更新から30秒以上経過後、位置情報取得に失敗したとき
 - 最後の更新から60秒以上経過したとき
 - Cボタンを押してデータ更新に失敗したとき
- 目的地までの距離の表示範囲は0m～99999mです。目的地までの距離が表示範囲外の場合は、[-----]を表示します。
- 接続に失敗すると、[ERR]を表示します。
- ロケーションメモリーのデータがない場合は、[NO-DATA]と表示します。
- 初回の位置情報の取得に失敗すると、[FAILED]→[POSITION]の順で表示します。
- ロケーションインジケータ機能を使用中に異常磁気を検出した場合、[H]または[G]が点滅します。
- ロケーションインジケータ機能を使用中に方位センサーのエラーが発生した場合、[H ERR]を表示します。

自動で高度を補正する

CASIO WATCHES の高度自動補正の機能をオンにすると、CASIO WATCHES で高度値を取得し、時計の高度値を自動で補正して更新します。

重要

- 高度自動補正機能のオン/オフはCASIO WATCHES で切り替えます。時計では切り替えできません。

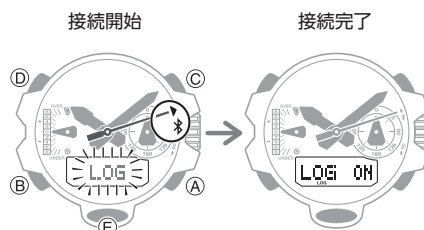
参考

- CASIO WATCHES で取得した高度値の精度が条件を満たしていれば、時計の高度値を自動補正します。
- 自動時刻修正のタイミングで自動補正をします。
- 手動補正から12時間は、自動補正をしません。

移動した場所の高度と経路を記録する(ミッションログ機能)

CASIO WATCHES のGPS機能で移動した経路を記録します。同時に、時計で2分ごとに高度を計測して記録し、1時間ごとに高度データをCASIO WATCHES に自動で転送します。

- 「CASIO WATCHES」アイコンをタップします。
- 高度計測モードにします。
モードを切り替える
- Aボタンを5秒以上押し続け、[LOG]が点滅し、秒針が*に移動したら指を離します。
時計とスマートフォンが接続すると、[LOG]から[LOG ON]に変わります。
 - ミッションログ機能がオンになりました。



- ミッションログ機能をオフにしたい場合は、もう一度Aボタンを5秒以上押し続けます。

参考

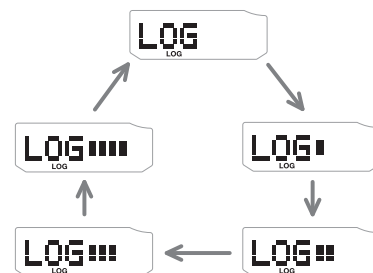
- ミッションログ機能がオンのときは、[LOG]が点灯します。
- ミッションログ機能をオンにしてから12時間後に、自動的にオフになります。
- 他のモードに移動しても、ミッションログ機能オンの状態は有効です。
- 時計は、高度情報を60本まで記録できます。61本目のデータを記録すると、一番古いデータが消去されます。

●データの転送について

ミッションログ機能をオンにしてから時計で計測した高度情報が30本たまると、データの転送を開始します。

- データは、各モードの通常状態のときに自動転送されます。

データ送信中は、以下のように表示が切り替わります。



- 秒針は[RC]を示します。
- データの転送に失敗すると、元の表示に戻り[LOG]が点滅します。

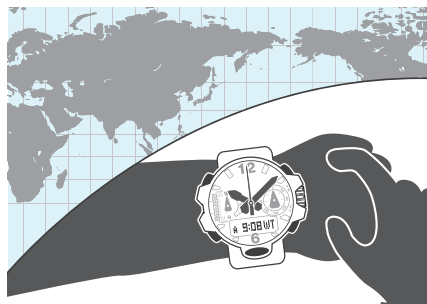


参考

- 自動転送に失敗した場合、10分ごとに最大5回まで再送します。または、CASIO WATCHES 接続時にデータを転送します。

ワールドタイムを設定する

CASIO WATCHES でワールドタイム都市を設定し、時計にその都市の時刻をセットします。ワールドタイム都市にはサマータイムの時期になると自動でサマータイムになるような設定ができます。

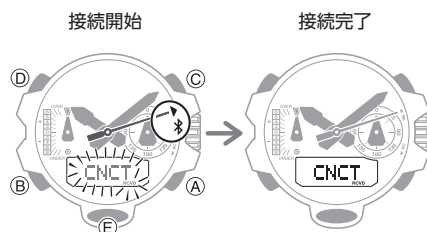


参考

- CASIO WATCHES のワールドタイム都市は約 300 都市あります。
- CASIO WATCHES を使えば、時計に設定がない都市をワールドタイム都市に設定できます。これらの都市をワールドタイム都市に設定する場合は、常に CASIO WATCHES を使って設定してください。

●ワールドタイム都市を設定する

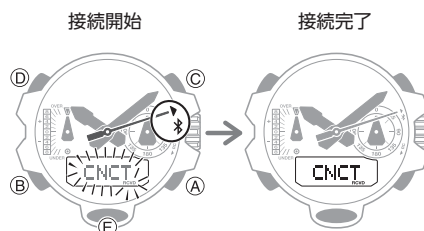
1. [CASIO WATCHES] アイコンをタップします。
2. B ボタンを 5 秒以上押し続け、秒針が ✱ を示し、[CNCT] が点滅したら指を離します。
 - 時計とスマートフォンが接続すると、[CNCT] が点滅から点灯に変わります。
 - 接続に失敗すると、[ERR] を表示した後に時刻モードに戻ります。



3. 画面に従って操作して、ワールドタイムを時計に反映させます。

●サマータイムを設定する

1. [CASIO WATCHES] アイコンをタップします。
2. B ボタンを 5 秒以上押し続け、秒針が ✱ を示し、[CNCT] が点滅したら指を離します。
 - 時計とスマートフォンが接続すると、[CNCT] が点滅から点灯に変わります。
 - 接続に失敗すると、[ERR] を表示した後に時刻モードに戻ります。



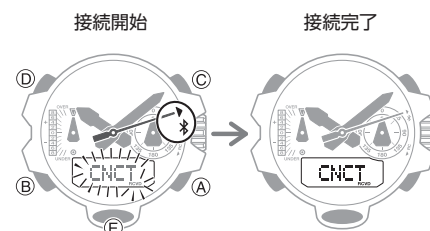
3. 画面に従って操作して、サマータイムを設定します。
 - [Auto] スタンダードタイムとサマータイムが自動で切り替わります。
 - [OFF] 常にスタンダードタイムで表示します。
 - [ON] 常にサマータイムで表示します。

参考

- サマータイム切り替えの設定が「Auto」のときは、自動でスタンダードタイムとサマータイムが切り替わります。サマータイムの切り替えのタイミングごとに時計の時刻を変更する必要はありません。また、サマータイムを導入していない都市でも、「Auto」の設定のまま使えます。
- 時計を操作して手動で時刻を合わせた場合は、サマータイムの自動切り替えが解除されます。
- サマータイムの切り替え期間は、サマータイム期間一覧で確認できます。

●ワールドタイムとホーム都市の時刻を入れ替える

1. [CASIO WATCHES] アイコンをタップします。
2. B ボタンを 5 秒以上押し続け、秒針が ✱ を示し、[CNCT] が点滅したら指を離します。
 - 時計とスマートフォンが接続すると、[CNCT] が点滅から点灯に変わります。
 - 接続に失敗すると、[ERR] を表示した後に時刻モードに戻ります。



3. 画面に従って操作して、ホーム都市の時刻とワールドタイムを入れ替えます。

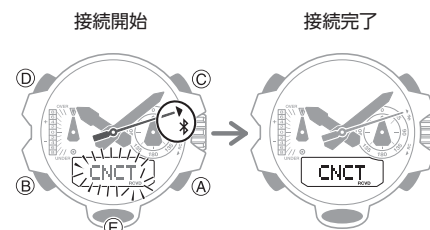
参考

- ワールドタイムとホーム都市の時刻を入れ替えた後、24 時間は自動時刻合わせを行いません。

針の位置を補正する

自動時刻合わせをしても針の位置が合っていないときは、CASIO WATCHES を使って針の位置を補正できます。

1. [CASIO WATCHES] アイコンをタップします。
2. B ボタンを 5 秒以上押し続け、秒針が ✱ を示し、[CNCT] が点滅したら指を離します。
 - 時計とスマートフォンが接続すると、[CNCT] が点滅から点灯に変わります。
 - 接続に失敗すると、[ERR] を表示した後に接続開始前のモードに戻ります。



3. 画面に従って操作して、針の位置を補正します。

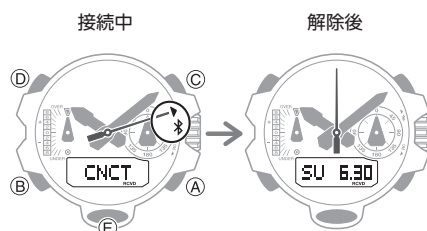
スマートフォンを探す

時計の操作で、スマートフォンの音を鳴らして探すことができます(携帯電話探索機能)。スマートフォンがマナーモードに設定されていても、強制的に音が鳴ります。

重要

- スマートフォンの音を鳴らすことが禁止されている場所では、この機能を使わないでください。
- 大音量が発生しますので、ヘッドホン使用時にこの機能を使わないでください。

- 時計とスマートフォンが接続している場合は、いずれかのボタンを押して接続を解除します。



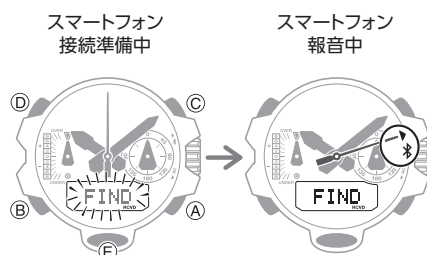
- 受信モードにします。

モードを切り替える

- A ボタンを 5 秒以上押し続け、[FIND] が点滅したら指を離します。

スマートフォンと接続すると、スマートフォンの音が鳴ります。

- スマートフォンの音が鳴るまで数秒かかります。



- いずれかのボタンを押して音を止めます。

- 音が鳴り始めてから 30 秒間は、時計のボタン操作で音を止めることができます。

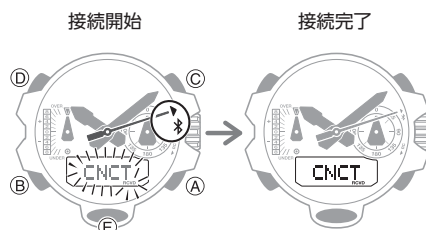
時計の各種機能を設定する

アラーム時刻やタイマー時間なども、CASIO WATCHES で設定できます。

- 「CASIO WATCHES」アイコンをタップします。

- B ボタンを 5 秒以上押し続け、秒針が ✱ を示し、[CNCT] が点滅したら指を離します。

- 時計とスマートフォンが接続すると、[CNCT] が点滅から点灯に変わります。
- 接続に失敗すると、[ERR] を表示した後に時刻モードに戻ります。



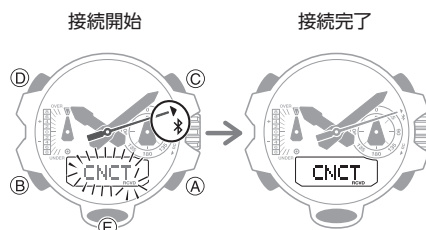
- 設定したい内容を選び、画面に従って操作します。

ホーム都市のサマータイム設定を切り替える

- 「CASIO WATCHES」アイコンをタップします。

- B ボタンを 5 秒以上押し続け、秒針が ✱ を示し、[CNCT] が点滅したら指を離します。

- 時計とスマートフォンが接続すると、[CNCT] が点滅から点灯に変わります。
- 接続に失敗すると、[ERR] を表示した後に時刻モードに戻ります。



- 画面に従って操作して、ホーム都市のサマータイム設定を切り替えます。

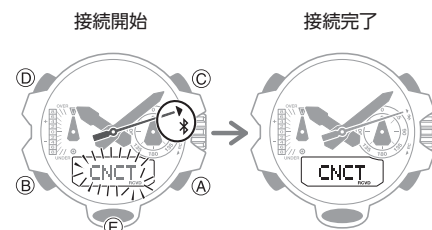
時計の充電量を確認する

CASIO WATCHES で時計の充電量を確認できます。

- 「CASIO WATCHES」アイコンをタップします。

- B ボタンを 5 秒以上押し続け、秒針が ✱ を示し、[CNCT] が点滅したら指を離します。

- 時計とスマートフォンが接続すると、[CNCT] が点滅から点灯に変わります。
- 接続に失敗すると、[ERR] を表示した後に時刻モードに戻ります。



- CASIO WATCHES で充電量の表示を確認します。

訪れた場所を記録する (TIME & PLACE)

旅行などで訪れた場所の位置や訪れた日時を、スマートフォンに記録できます。記録した位置情報は、CASIO WATCHES の地図で確認できます。

● 現在位置を記録する

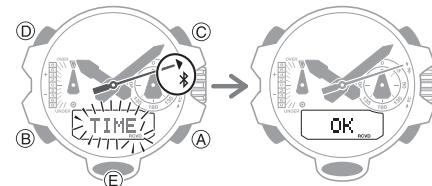
- 受信モードにします。

モードを切り替える

- 記録したい場所で A ボタンを押します。

ボタンを押した場所の緯度、経度、日時がスマートフォンに記録され、時計に [OK] が表示されます。

- このとき、スマートフォンと時計の時刻が合います。



●訪れた場所を地図で確認する

1. [CASIO WATCHES]アイコンをタップします。
2. 画面に従って操作して、記録した位置情報を確認します。

参考

- 記録した位置情報は、CASIO WATCHES を操作して消去できます。

接続

時計とスマートフォンを接続する

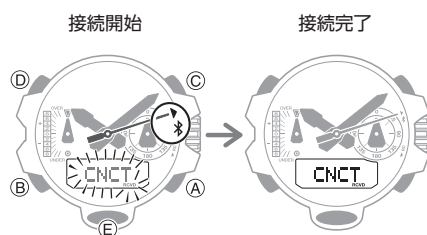
この時計は、ペアリング済みのスマートフォンと接続します。

- ペアリングしていないときは、下記を参照し、ペアリングを完了してください。

🔗 ③ ペアリングする

●スマートフォンと接続する

1. スマートフォンを、時計の近く (1m 以内を推奨) に置きます。
2. B ボタンを 5 秒以上押し続け、秒針が  を示し、[CNCT] が点滅したら指を離します。
 - 時計とスマートフォンが接続すると、[CNCT] が点滅から点灯に変わります。
 - 接続に失敗すると、[ERR] を表示した後に時刻モードに戻ります。



重要

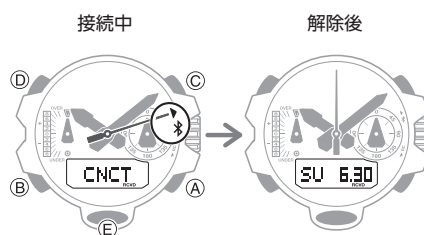
- 時計とスマートフォンを接続できないときは、CASIO WATCHES が終了している可能性があります。スマートフォンのホーム画面で [CASIO WATCHES] アイコンをタップしてアプリケーションを起動してから、時計の B ボタンを 5 秒以上押し続けてください。

参考

- 接続中に一定時間何も操作しないと、自動で接続は解除されます。接続を維持する時間は、CASIO WATCHES の「時計設定」→「アプリとの接続時間」で、3 分、5 分、10 分から選ぶことができます。

時計とスマートフォンの接続を解除する

いずれかのボタンを押すと、Bluetooth 接続が解除され時刻モードに戻ります。



ペアリングを解除する

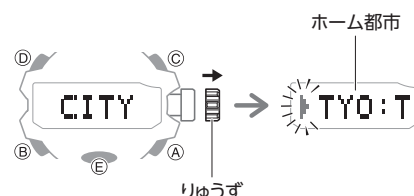
時計とスマートフォンのペアリングを解除するには、CASIO WATCHES の操作と時計の操作が必要です。

●CASIO WATCHES からペアリング情報を削除する

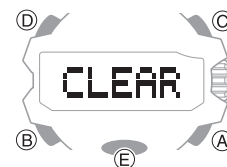
1. [CASIO WATCHES]アイコンをタップします。
2. 画面に従って操作して、ペアリングを解除します。

●時計のペアリング情報を削除する

1. B ボタンを 2 秒以上押し続けて時刻モードにします。
2. リゅうずを緩めてから引きます。
現在設定しているホーム都市を表示します。



3. D ボタンを 3 秒以上押し続け、[PAIR] と [CLEAR] の交互表示から [CLEAR] のみの点灯に変わったら指を離します。
時計からペアリング情報が削除され、時刻の表示に戻ります。



4. リゅうずを戻し、ロックします。
時刻モードに戻ります。

重要

- ミッションログ機能がオンのときは、時計からペアリング情報を削除できません。
🔗 移動した場所の高度と経路を記録する (ミッションログ機能)

スマートフォンを買い替えたとき

今まで接続したことのないスマートフォンと本機を Bluetooth 接続する場合は、ペアリング操作が必要です。

- 🔗 時計のペアリング情報を削除する
- 🔗 ③ ペアリングする

時刻合わせについて

この時計は、スマートフォンと接続したり、標準電波を受信したりして日付や時刻を合わせることができます。

重要

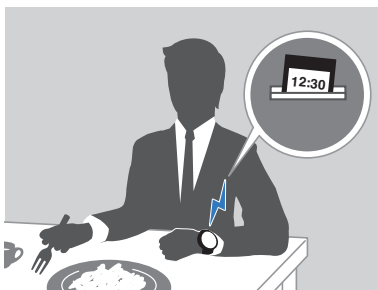
- 飛行機内など、スマートフォンと接続しては困るような場所では、スマートフォンとの接続を無効にしてください。
- 📍 病院内、飛行機内で使うとき

以下のチャートを参考にして、自分の生活スタイルに合った方法で時刻を合わせてください。

スマートフォンをお使いですか？

スマートフォンと接続して時刻を合わせることをお勧めします。

📍 時計の時刻を自動で合わせる

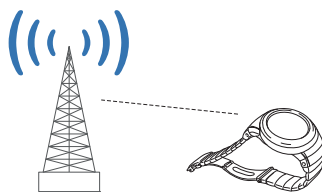


標準電波が受信できる地域にお住まいですか？

電波受信に対応した都市をホーム都市に設定すると、標準電波を受信して時刻を合わせることができます。

📍 標準電波の受信範囲

📍 ホーム都市を設定する



上記以外

接続できるスマートフォンがなく標準電波も受信できない場合は、時計を操作して時刻を合わせることができます。

📍 時計を操作して時刻を合わせる



標準電波で時刻を合わせる

概要

標準電波を受信すると、時計の時刻や日付を合わせることができます。

重要

- 標準電波を受信して正しい時刻を表示するには、ホーム都市のタイムゾーンを使用する地域に設定する必要があります。
- スマートフォンと接続してご利用の場合で、前日に一度もスマートフォンと接続して時刻合わせが行われなかったときは、標準電波を自動で受信して時計の時刻を合わせます。

参考

- 標準電波は、受信できる地域が限られています。標準電波を受信できない地域で使う場合は、スマートフォンと接続して時刻を合わせてください。
- 📍 標準電波の受信範囲

受信に適した場所

窓際で電波を受信できます。

- 時計の 12 時位置を窓に向けて置いてください。
- 金属は避けてください。
- 時計を動かさないでください。
- 時計を操作しないでください。



参考

- 以下の場所では、標準電波を受信しにくくなります。
 - ビルの中およびその周辺
 - 乗り物の中
 - 家庭電化製品、OA 機器、携帯電話などの近く
 - 工事現場、飛行場など電波障害が起きる場所
 - 高圧線の近く
 - 山間部、山の裏側

標準電波の受信範囲

● 日本 (JJY)

日本の標準電波送信所は、福島県のおたかどや山と福岡県/佐賀県のはがね山に位置します。
標準電波の受信範囲は、各送信所を中心として約 1,000km 以内です。

● 中国 (BPC)

中国の標準電波送信所は、中国河南省の商丘市に位置します。
標準電波の受信範囲は、商丘送信所を中心として約 1,500km 以内です。

● アメリカ (WWVB)

アメリカの標準電波送信所は、コロラド州フォートコリンズに位置します。
標準電波の受信範囲は、フォートコリンズ送信所を中心として約 3,000km 以内です。

● イギリス (MSF)/ドイツ (DCF77)

イギリスの標準電波送信所は、カンブリア州アンソーンに位置します。
ドイツの標準電波送信所は、フランクフルト南東のマインフリンゲンに位置します。
標準電波の受信範囲は、各送信所を中心として約 1,500km 以内です。

参考

- 標準電波の受信範囲内でも地形、天候、時期(季節)、時刻、無線ノイズの影響により受信できないことがあります。
- ホーム都市が電波受信に対応していない都市の場合、標準電波の受信はできません。

自動で標準電波を受信する

午前 12 時(深夜 12 時)から午前 5 時の間に標準電波を受信して、自動で時刻や日付を合わせます。1 日 1 回受信に成功すれば、その日は自動受信をしません。

1. 窓際のような受信に適した場所に時計を置きます。

- 標準電波を受信中は、[RC!] が点灯します。
- 受信に成功すると、自動的に時計の時刻と日付が合い、時刻モードに戻ります。

参考

- 受信には約 2 分から約 10 分かかります。最大で約 20 分かかる場合もあります。

自動受信のオン/オフ設定

自動受信の設定をオフにして自動受信機能を停止させることができます。

参考

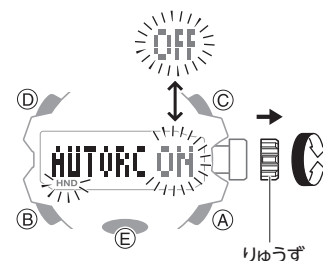
- 電波の受信に対応している都市をホーム都市に設定している場合は、自動受信のオン/オフ設定ができます。
🔗 標準電波の受信範囲

1. 受信モードにします。

🔗 モードを切り替える

2. リゅうずを緩めてから引きます。

[AUTORC] が点灯し、[ON] または [OFF] が点滅します。



3. リゅうずを回して、自動受信をオンまたはオフに設定します。

4. リゅうずを戻し、ロックします。

参考

- リゅうずを引いた状態で 2 分以上何も操作しないと、操作が効かなくなります。その場合は、リゅうずをいったん戻し、再度引いてください。

手動で標準電波を受信する

1. 窓際のような受信に適した場所に時計を置きます。

2. 受信モードにします。
 〰 モードを切り替える

3. [RC!]が点灯するまで2秒以上、A ボタンを押し続けます。

標準電波の受信が始まります。標準電波を受信すると、時計の時刻と日付が合います。



- 電波の受信中は、受信状態レベル([L1]、[L2]、[L3])を表示します。

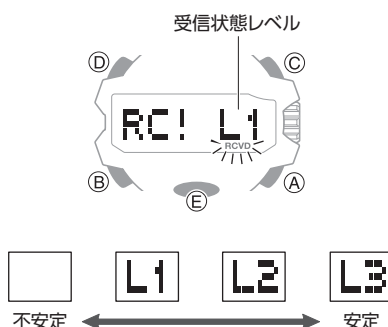
〰 受信状態のレベル表示について

参考

- 受信には約2分から約10分かかります。最大で約20分かかる場合もあります。
- 昼間よりも夜間のほうが標準電波を受信しやすくなります。

受信状態のレベル表示について

電波を受信しているとき、受信状態を以下のように表示します。レベル表示を確認し、電波の受信状態が最も安定する所に時計を置いてください。



参考

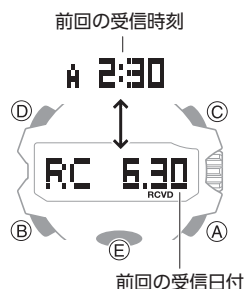
- 受信の条件が良好な場合でも、受信状態が安定するまで約10秒かかります。
- 天候、時間、環境などの影響で受信状態は変化します。

前回の時刻合わせ結果を確認する

1. 受信モードにします。

〰 モードを切り替える

最後に受信した日付と時刻を表示します。



受信のご注意

- 電波の受信による時刻合わせができないときは、平均月差±15秒の精度で動きます。
- 電波を受信して時刻合わせをするときに、時計内部の演算処理などにより若干(1秒未満)のずれが発生します。
- 時計が以下の状態のときは、標準電波を受信できません。
 - 充電不足のとき
 - 時刻モード以外のモードのとき
 - 節電状態レベル2のとき
 - 方位計測、気圧計測、温度計測、または、高度計測をしているとき
 - 気圧傾向インフォメーションが作動しているとき
 - タイマーで計測中
 - 自動時刻修正が無効のとき
 - 電波受信に対応していない都市をホーム都市の地域に設定しているとき
 - 電波の受信範囲外でお使いのとき
- 受信に成功すると、自動的に時計の時刻や日付が合います。ただし、以下のような場合は、サマータイムが正しく反映されません。
 - サマータイム開始日時、終了日時の規定が変わった
- 中国は2023年1月の時点でサマータイム制度を導入していません。今後この制度を導入した場合は、正しい時刻が表示されないことがあります。

時計を操作して時刻を合わせる

スマートフォンと接続できない場合などに、時計を操作して日付や時刻を合わせます。

●ホーム都市を設定する

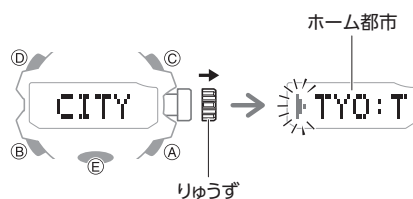
この時計を使用する都市を設定します。サマータイムを実施している地域の場合は、サマータイムを設定することができます。

1. 時刻モードにします。

🕒 **モードを切り替える**

2. リゅうずを緩めてから引きます。

現在設定しているホーム都市を表示します。



3. リゅうずを回して、設定する都市を表示します。

- 都市コードについては、下記をご覧ください。

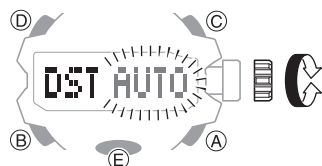
🕒 **都市一覧**

4. B ボタンを押します。

5. リゅうずを回して、サマータイムの設定を変更します。

以下の順で設定が切り替わります。

- [AUTO]
スタンダードタイムとサマータイムが自動で切り替わります。
- [OFF]
常にスタンダードタイムで表示します。
- [ON]
常にサマータイムで表示します。



6. リゅうずを戻し、ロックします。

参考

- リゅうずを引いた状態で2分以上何も操作しないと、操作が効かなくなります。その場合は、リゅうずをいったん戻し、再度引いてください。
- サマータイム[AUTO]の設定は、電波を受信可能な都市をホーム都市に設定しているときに有効です。

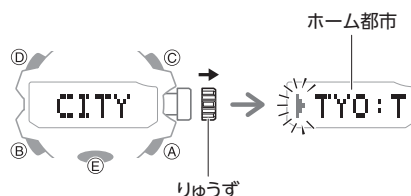
●日時を設定する

1. 時刻モードにします。

🕒 **モードを切り替える**

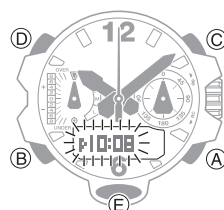
2. リゅうずを緩めてから引きます。

現在設定しているホーム都市を表示します。



3. D ボタンを押します。

「時」と「分」が点滅します。



4. リゅうずを回して「分」を合わせます。

- 「分」と「時」は連動しています。

5. B ボタンを押します。

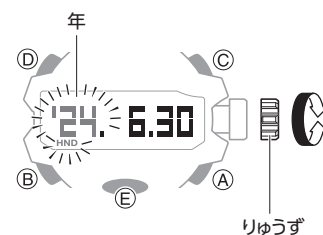
「時」が点滅します。

6. リゅうずを回して「時」を合わせます。

7. B ボタンを押します。

「年」が点滅します。

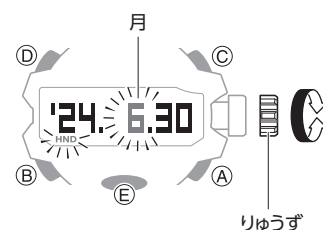
8. リゅうずを回して「年」を合わせます。



9. B ボタンを押します。

「月」が点滅します。

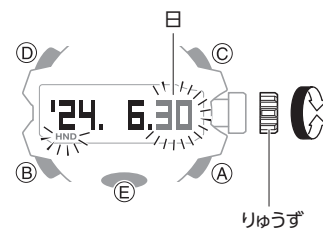
10. リゅうずを回して「月」を合わせます。



11. B ボタンを押します。

「日」が点滅します。

12. リゅうずを回して「日」を合わせます。



13. 時報に合わせリゅうずを戻し、ロックします。

参考

- リゅうずを引いた状態で2分以上何も操作しないと、操作が効かなくなります。その場合は、リゅうずをいったん戻し、再度引いてください。

●12 時間制/24 時間制を切り替える

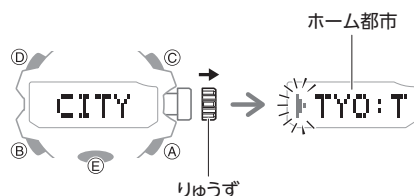
時刻の表示方法を、12 時間制または 24 時間制に設定できます。

1. 時刻モードにします。

🔄 **モードを切り替える**

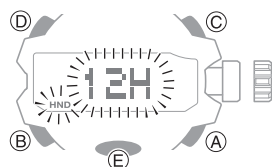
2. リューズを緩めてから引きます。

現在設定しているホーム都市を表示します。

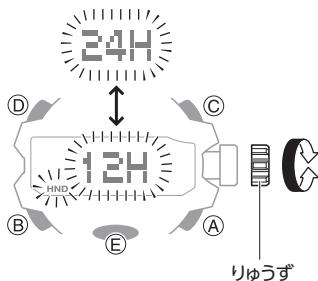


3. B ボタンを 5 回押します。

[12H] または [24H] が点滅します。



4. リューズを回して、[12H] (12 時間制) または [24H] (24 時間制) を選びます。



5. リューズを戻し、ロックします。

参考

- リューズを引いた状態で 2 分以上何も操作しないと、操作が効かなくなります。その場合は、リューズをいったん戻し、再度引いてください。

病院内、飛行機内で使うとき

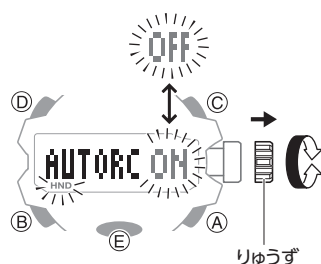
病院内や飛行機内など、自動で標準電波を受信したり、スマートフォンと接続しては困るような場合、自動時刻合わせを無効にできます。自動時刻合わせを有効に戻すときも同じ操作です。

1. 受信モードにします。

🔄 **モードを切り替える**

2. リューズを緩めてから引きます。

[AUTORC] が点灯し、[ON] または [OFF] が点滅します。



3. リューズを回して、自動時刻修正の設定を変更します。

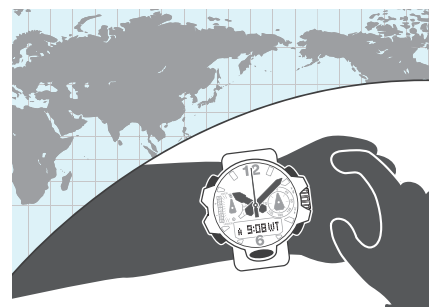
[OFF] : 自動時刻合わせを無効にします。

[ON] : 自動時刻合わせを有効にします。

4. リューズを戻し、ロックします。

ワールドタイム

世界 55 都市 (38 タイムゾーン) と UTC (協定世界時) の時刻を知ることができます。



CASIO WATCHES でワールドタイムを設定する

スマートフォンとペアリングしている場合は、CASIO WATCHES を使ってワールドタイム都市を設定することもできます。

🔄 **ワールドタイムを設定する**

参考

- CASIO WATCHES でのみ設定できるワールドタイム都市は、時計の操作では設定できません。

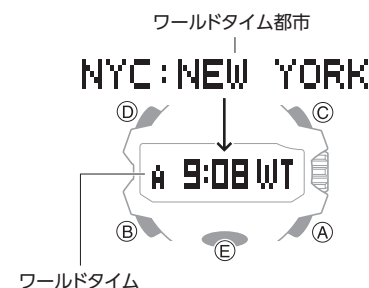
ワールドタイムを確認する

1. ワールドタイムモードにします。

🔄 **モードを切り替える**

現在設定しているワールドタイム都市が表示された後、その都市の時刻が画面に表示されます。

- 時針、分針はホーム都市の時刻を示します。



ワールドタイム都市を設定する

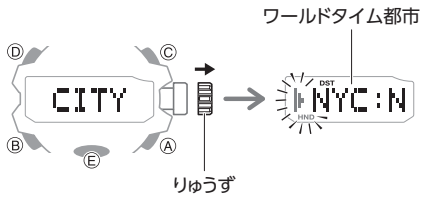
ワールドタイムを表示する都市を設定します。サマータイムを実施している地域の場合は、サマータイムを設定することができます。

1. ワールドタイムモードにします。

🕒 モードを切り替える

2. リゅうずを緩めてから引きます。

現在設定しているワールドタイム都市を表示します。



3. リゅうずを回して、設定する都市を表示します。

- 都市コードについては、下記をご覧ください。

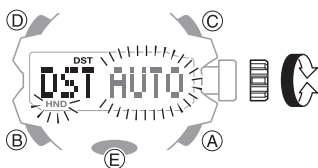
🕒 都市一覧

4. B ボタンを押します。

5. リゅうずを回して、サマータイムの設定を変更します。

以下の順で設定が切り替わります。

- [AUTO]
スタンダードタイムとサマータイムが自動で切り替わります。
- [OFF]
常にスタンダードタイムで表示します。
- [ON]
常にサマータイムで表示します。



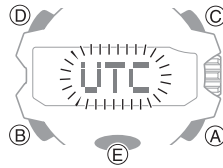
6. リゅうずを戻し、ロックします。

参考

- リゅうずを引いた状態で 2 分以上何も操作しないと、操作が効かなくなります。その場合は、リゅうずをいったん戻し、再度引いてください。
- 都市に [UTC] を選んだ場合、サマータイムの設定を確認したり、切り替えたりすることはできません。

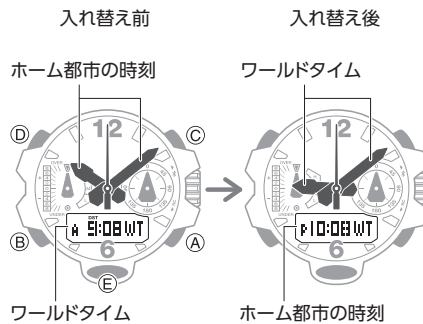
●ワールドタイム都市を UTC (協定世界時) に設定する

ワールドタイムモードで A ボタンを 3 秒以上押し続けると、ワールドタイム都市が UTC (協定世界時) に設定されます。



ホーム都市の時刻とワールドタイムの時刻表示を入れ替える

ワールドタイムモードで D ボタンを 3 秒以上押し続けると、[CITY] を表示し、ホーム都市の時刻とワールドタイムの時刻が入れ替わります。



アラーム

指定した時刻に音でお知らせします。アラームを 5 つ設定できます。また、毎正時 (00 分) に時報を鳴らすこともできます。

- 電池が不足しているときは音が鳴りません。



CASIO WATCHES でアラームをセットする

スマートフォンとペアリングしている場合は、CASIO WATCHES を使ってアラームを設定することもできます。

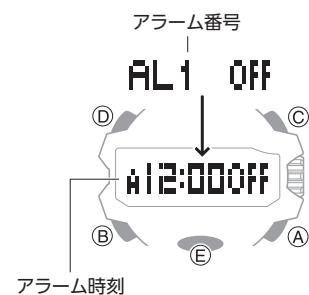
🕒 時計の各種機能を設定する

アラームをセットする

1. アラームモードにします。

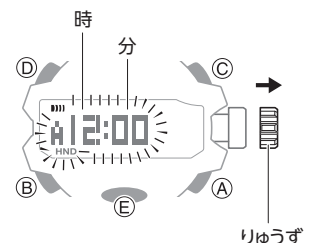
🕒 モードを切り替える

2. A または C ボタンを押して、セットしたいアラームの番号 ([AL1] ~ [AL5]) を表示させます。



3. リゅうずを緩めてから引きます。

「時」と「分」が点滅します。

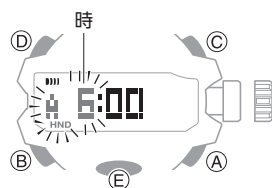


4. リゅうずを回して、「分」を合わせます。

- 「分」と「時」は連動しています。

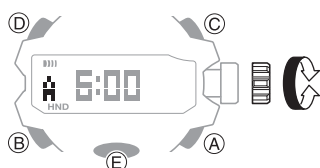
5. B ボタンを押します。

「時」が点滅します。



6. リゅうずを回して、「時」を合わせます。

- 12 時間制では、[A] (午前) または [P] (午後) を表示します。



7. リゅうずを戻し、ロックします。

参考

- アラームモードのとき、何も操作せず約 3 分間経過すると、自動的に時刻モードに戻ります。
- リゅうずを引いた状態で 2 分以上何も操作しないと、操作が効かなくなります。その場合は、リゅうずをいったん戻し、再度引いてください。

●アラームを止めるには

設定した時刻に音が鳴ったら、いずれかのボタンを押すと、音が止まります。

参考

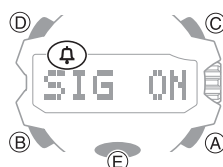
- 設定した時刻になると、音を 20 秒間鳴らしてお知らせします。

時報をセットする

1. アラームモードにします。
⌚ モードを切り替える
2. A または C ボタンを押して、時報 ([SIG]) を表示させます。



3. D ボタンを押して、時報のオン/オフを切り替えます。
• オンにすると、🔔 (時報) が点灯します。



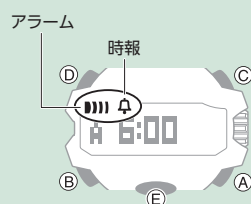
アラームや時報を解除する

アラームや時報の音が鳴らないようにするには、以下の操作で設定をオフにしてください。

- 再度アラームや時報の音を鳴らすには、アラームや時報の設定をオンにしてください。

参考

- 1 つ以上のアラームまたは時報をオンにすると、該当する表示が点灯します。
- すべてのアラームまたは時報をオフにすると、該当する表示が消灯します。

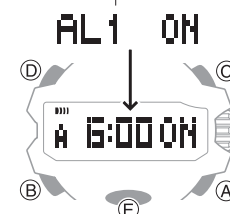


1. アラームモードにします。

⌚ モードを切り替える

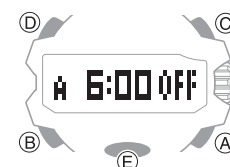
2. A または C ボタンを押して、設定をオフにしたいアラームの番号 ([AL1] ~ [AL5]) または時報 ([SIG]) を表示させます。

アラーム番号または時報



3. D ボタンを押して、アラームまたは時報をオフにします。

- D ボタンを押すごとに、オンとオフが切り替わります。
- オフにすると、🔔 (アラーム) または 🔔 (時報) が消灯します。



参考

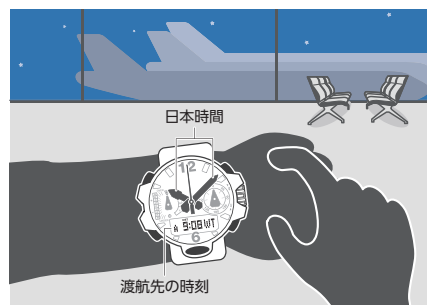
- 🔔 (アラーム) が消灯しないときは、他のアラームがオンになっています。すべてのアラームを解除したいときは、🔔 (アラーム) が消灯するまで手順 2、3 を繰り返してください。

海外に渡航するときは

こんな使い方をすれば、スムーズに渡航先の日時に変更できます。

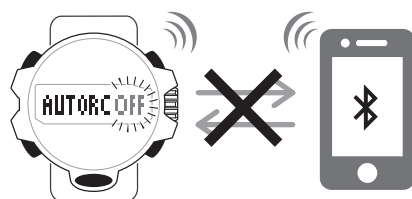
●搭乗前

1. 渡航先の時刻をワールドタイムに設定します。



- CASIO WATCHES で設定する場合
- 時計を操作して設定する場合

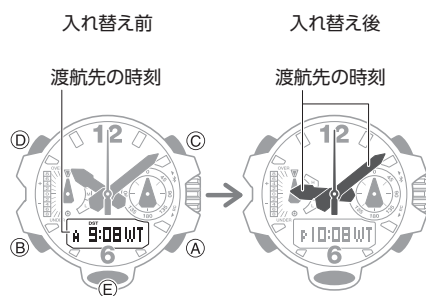
2. 自動時刻合わせを無効にします。



- 病院内、飛行機内で使うとき

●到着後

1. 出発地と渡航先の時刻を入れ替えます。



- CASIO WATCHES で設定する場合
- 時計を操作して設定する場合

2. 自動時刻合わせを有効にします。

- 病院内、飛行機内で使うとき

3. 時刻を合わせます。

- すぐに時刻を合わせたい

方位計測

北の方向や目標の方位を調べることができます。



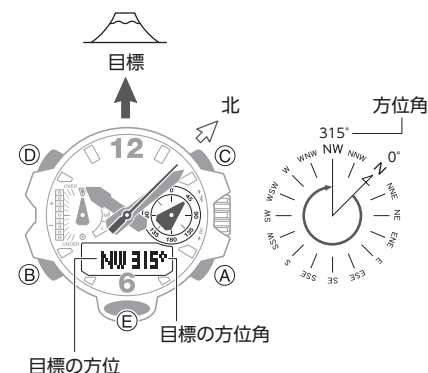
重要

- 正確な計測のために、以下をご覧ください。
- 方位計測値のずれを補正する
- 方位計測のご注意

方位を計測する

1. 方位計測モードにします。
○ モードを切り替える
[COMP] が表示され、方位計測を開始します。
2. 計測したい目標に時計の 12 時位置を向けて、水平に保ちます。
 - 秒針が北方位を示します。画面には目標の 16 方位や方位角が表示されます。
 - 再計測するときは、C ボタンを押します。

方位の見方



方位: N (北)、E (東)、W (西)、S (南)

参考

- 計測によって示す北方位は磁北です。北方位を真北に変更することもできます。
○ 北方位を真北に設定する (磁気偏角補正)
○ 磁北と真北
- 最初の計測結果を表示後、約 1 秒ごとに約 60 秒間計測が続きます。C ボタンを押してから約 60 秒経過すると、時刻モードに戻ります。
- 計測中は、オートライト機能でライトを点灯することができません。
- 方位計測中にアラームなどの音が鳴ったときや E ボタンを押してライトを点灯させたときは、一時的に計測が中止します。アラーム音が止まった後、またはライトが消灯した後に計測が再開します。
- CASIO WATCHES を使って位置情報を記録し、時計上で記録した場所までの距離と方位を表示できます。
○ 現在の位置情報を記録する (ロケーションメモリー)
○ メモリー地点までの距離と方位を確認する (ロケーションインジケータ機能)

●地図の方向と実際の風景を合わせる (整置)

「整置」とは、地図の北方位をコンパス (方位磁針) の北方位に合わせることです。「整置」をすると、地図と地形の関係を把握しやすくなります。この時計を使って「整置」をするには、地図の北方位を、この時計で計測した北方位に合わせてください。「整置」をしたら、地図の方向と周囲の風景を見比べて現在地や目的地をご確認ください。

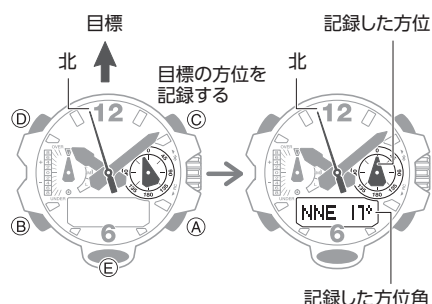
- 現在地や目的地を確認するには、地図を読むための知識と経験が必要です。

目標方位を記録する(ベアリングメモリー)

目標の方位を記録できます。記録した方位は方位針で示します。視界がよくないときも目標の方位に進むことができます。

1. 方位計測モードにします。
☞ **モードを切り替える**
2. 記録したい目標に時計の 12 時位置を向けて、水平に保ちます。
3. D ボタンを押します。

時計の 12 時位置の方向を目標の方位として記録します。



- 記録した方位を消去する場合は、D ボタンを 2 秒以上押し続けます。

方位を補正する

方位計測値のずれを補正する

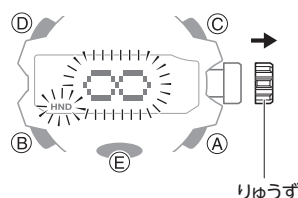
正確なコンパス(方位磁針)と比較して計測値がずれている場合や登山前に、正しい方位を計測するため、8 の字補正または 3 点補正をしてください。

- 強い磁力がある場所では正しく計測や補正ができません。

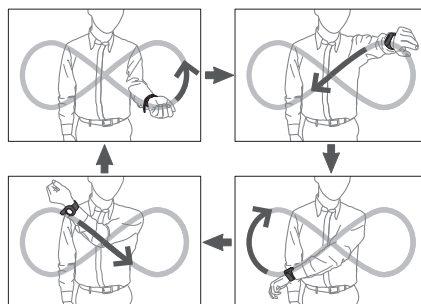
☞ **方位計測のご注意**

8 の字補正

1. 方位計測モードにします。
☞ **モードを切り替える**
2. リゅうずを緩めてから引きます。
∞ が表示されます。



3. C ボタンを押します。
図のように腕を動かして、8 の字補正をします。



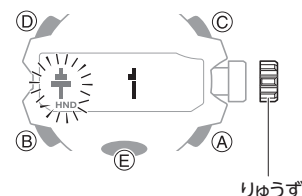
- 手首をひねるように動かしてください。
- 体からなるべく離れたところで動かしてください。
- 補正計測中は ∞ が点滅から点灯に変わります。
- 補正計測が成功すると [OK] を表示して、方位計測に切り替わります。これで補正の完了です。

参考

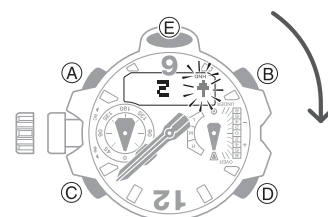
- 補正計測に失敗すると、手順 2 の状態に戻ります。もう一度手順 3 を繰り返してください。

3 点補正

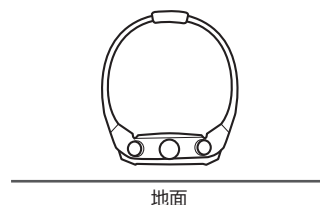
1. 方位計測モードにします。
☞ **モードを切り替える**
2. リゅうずを緩めてから引きます。
∞ が表示されます。
3. B ボタンを押します。
[↑ 1] が表示されます。



4. 時計を水平に保ちながら、C ボタンを押します。
1 点目の補正計測が始まり、[↑ WAIT] が表示されます。補正計測が成功すると、[OK] → [Turn 180°] → [↓ 2] の順に表示されます。
5. できるだけ正確に時計を 180 度回します。



6. C ボタンを押します。
2 点目の補正計測が始まり、[↓ WAIT] が表示されます。補正計測が成功すると、[OK] が表示されたあと、[TURN] と [OVER] が交互に表示されます。
7. 時計を地面の方向に向くように裏返します。



8. 時計を水平に保ちながら C ボタンを押します。
3 点目の補正が始まり、[WAIT] が表示されます。補正計測が成功すると、[OK] を表示します。
9. リゅうずを戻し、ロックします。

参考

- リゅうずを引いた状態で2分以上何も操作しないと、操作が効かなくなります。その場合は、リゅうずをいったん戻し、再度引いてください。
- 補正計測に失敗すると、手順2の状態に戻ります。その場合は、手順3から補正をやり直してください。

北方位を真北に設定する(磁気偏角補正)

表示される北方位を磁北ではなく真北にする場合は、磁気偏角の方角(東偏または西偏)と角度を設定します。

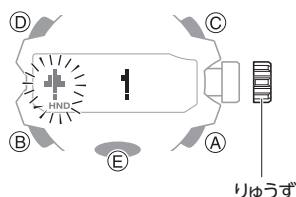
磁北と真北

- 磁気偏角は1°(度)単位で、近い方の値を設定してください。
例「7.4°(度)」の場合:「7°(度)」に設定
例「7°40'(7度40分)」の場合:「8°(度)」に設定

参考

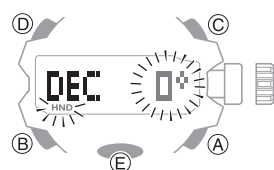
- 「磁気偏角の方角(東偏または西偏)と角度」は、地形図や登山地図のような等高線が描かれた地図に記載されています。また、国土地理院のホームページなどで調べることができます。

1. 方位計測モードにします。
☉モードを切り替える
2. リゅうずを緩めてから引きます。
∞が表示されます。
3. B ボタンを押します。
[↑1]が表示されます。



4. B ボタンを押します。

[DEC]と現在の磁気偏角の設定が表示されます。



5. リゅうずを回して、磁気偏角の方角と角度を設定します。

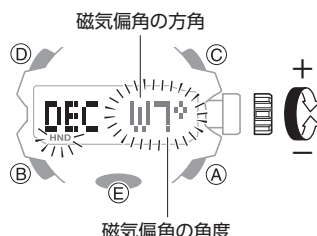
設定範囲:西偏 90°~東偏 90°

[OFF]:磁北

[E]:磁北が真北よりも東(東偏)

[W]:磁北が真北よりも西(西偏)

- 設定を[OFF]に戻すには、A ボタンとC ボタンを同時に押します。



6. リゅうずを戻し、ロックします。

参考

- リゅうずを引いた状態で2分以上何も操作しないと、操作が効かなくなります。その場合は、リゅうずをいったん戻し、再度引いてください。

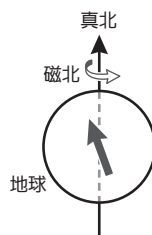
●磁北と真北

北を示す地理用語には磁北と真北の2種類があります。

磁北:コンパス(方位磁針)が示す北

真北:北極点の方向

下図のように、磁北と真北は一致していません。



参考

- 一般に市販されている地図の「北」は真北のことです。

方位計測のご注意

使用場所

強い磁力の近くで計測すると、計測値に誤差が発生します。以下の物から離れてご使用ください。

永久磁石(磁気アクセサリなど)、金属類、高圧線、架線、家庭電化製品(テレビ、パソコン、携帯電話など)

- 室内、特に鉄筋コンクリート構造の建物内では正確な計測はできません。

- 電車、船、飛行機などの乗り物の中では、正確な計測はできません。

保管場所

時計本体が磁気を帯びた場合、方位計測の精度に影響を及ぼす恐れがあります。以下の物の近くには置かないでください。

永久磁石(磁気アクセサリなど)、金属類、家庭電化製品(テレビ、パソコン、携帯電話など)

高度計測

気圧の変化量を計測して、高度を表示します。



重要

- 時計に内蔵の圧力センサーで計測した気圧の変化量を高度に換算します(相対高度計)。そのため、同じ場所で計測しても、気圧が変化すると表示する値も変化します。また、標高や海拔高度とは異なる値を表示することがあります。登山などで使用する場合は、実際に使用する場所の高度(標高)にこまめに補正してから計測することをおすすめします。

高度計測値を補正(オフセット)する

- 高度補正の値および気圧変化によってはマイナス値が表示されることがあります。

- 標高や海拔高度と計測値の差を少なくするために、以下をご覧ください。

高度計測値を補正(オフセット)する

高度計測のご注意

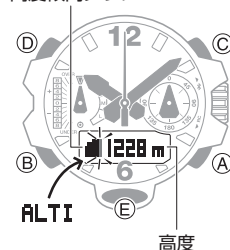
現在地の高度を確認する

- 高度計測モードにします。

モードを切り替える

高度計測モードに切り替えると計測が始まり、現在地の高度が表示されます。

高度傾向グラフ



- 最初の約3分間は1秒ごとに、それ以降は設定した間隔で一定時間高度が計測されます(自動計測)。

- 自動計測の間隔を設定する方法は、以下をご覧ください。

自動計測の間隔を設定する

- 再計測する場合は、A ボタンを押します。

- 時刻モードに戻るには、B ボタンを押します。

参考

- 高度計測で時計や分針が液晶表示に重なったときは、計測値を見やすくするために、22 秒位置または 38 秒位置に一時的に針が退避します。約3秒後に針は退避前の状態に戻ります。

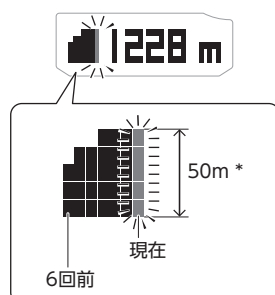
- 高度計測モードに切り替えたときに、前回高度を計測したときの状態が保持されていると、機能針は高度差を示します。

基準点からの高度差を確認する

- 計測範囲:-700m~10,000m(計測単位:1m)
ただし、高度計測値を補正すると、計測範囲は変わります。

- 計測範囲を超えたときは、[- -]が表示されます。

高度傾向グラフの見方



* 1つの■が10m

高度計測値を補正(オフセット)する

標高と計測値の差を少なくするため、登山の直前など計測の前に高度を補正(オフセット)することをおすすめします。

また、登山の途中でも標高の標識などと照らし合わせてこまめに補正すると、より正確な計測ができます。

参考

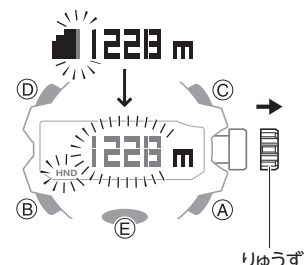
- 現在地の標高は、標識、地図、インターネットなどを使って調べることができます。
- 標高と計測値の差が発生する原因には、以下のものがあります。
 - 気圧の変化
 - 大気や標高差による温度変化
- 補正しないで計測すると、標高と計測値の差が大きくなる可能性があります。

- 高度計測モードにします。

モードを切り替える

- リゅうずを緩めてから引きます。

現在地の高度が表示され、高度オフセットモードになります。



- リゅうずを回して、高度の値を標高や海拔高度に合わせます。

セット範囲:-3,000~10,000m

セット単位:1m

- 高度の設定値を初期設定(工場出荷時)に戻すには、A ボタンと C ボタンを同時に押します。

- リゅうずを戻し、ロックします。

参考

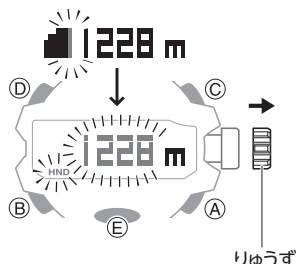
- リゅうずを引いた状態で2分以上何も操作しないと、操作が効かなくなります。その場合は、リゅうずをいったん戻し、再度引いてください。

基準点からの高度差を確認する

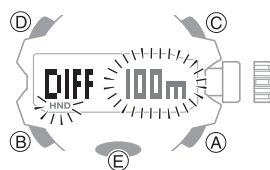
基準とする場所と移動後の高度差を秒針で確認できます。登山やトレッキングのとき、高度基準点を設定すると、基準点からの高度差を簡単に計測できます。

●高度差計測範囲を設定する

1. 高度計測モードにします。
🔗 [モードを切り替える](#)
2. リゅうずを緩めてから引きます。
現在地の高度が表示されます。



3. B ボタンを2回押します。
高度差の計測範囲が表示されます。



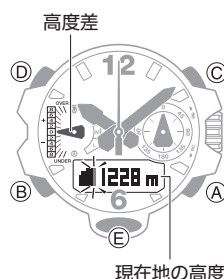
4. リゅうずを回して、[100m]または[1000m]を選びます。
[100m]: ±100m を5m 単位で計測
[1000m]: ±1000m を50m 単位で計測
5. リゅうずを戻し、ロックします。

参考

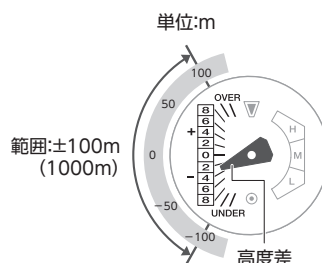
- リゅうずを引いた状態で2分以上何も操作しないと、操作が効かなくなります。その場合は、リゅうずをいったん戻し、再度引いてください。

●計測する

1. 地図の等高線を使って、現在地と目的地の高度差を調べます。
2. 現在地の高度を計測します。
🔗 [現在地の高度を確認する](#)
3. D ボタンを2秒以上押し続けて、現在地を高度基準点に設定します。
[DIFF RESET] → [RESET] を表示した後、現在地の高度が表示されます。
●機能針が高度基準点との高度差を示します(高度差インジケーター)。この時点では、±0m を示します。



4. 地図で調べた高度差と機能針が示す高度差を比較しながら、目的地に向かって進みます。
●地図で調べた高度差と機能針が示す高度差が同じになる地点が目的地付近です。
例: 高度差が-30m (-300m) のとき



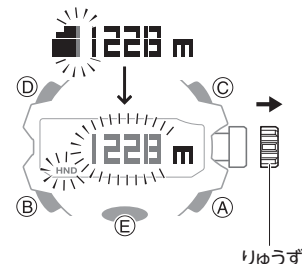
参考

- 高度差が設定した値を超えた場合は、機能針が[OVER]または[UNDER]を示します。
計測範囲を±100m に設定している場合は、±1000m の設定に切り替えてご使用ください。
- 高度計の計測範囲(-700m~10,000m)を超えたときや計測エラーが発生したときは、機能針が[0]を示します。

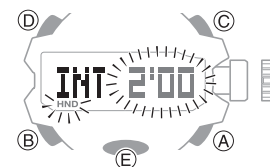
自動計測の間隔を設定する

自動計測の間隔は、5秒または2分から選ぶことができます。

1. 高度計測モードにします。
🔗 [モードを切り替える](#)
2. リゅうずを緩めてから引きます。
現在地の高度が表示されます。



3. B ボタンを押します。
自動計測の間隔が表示されます。



4. リゅうずを回して、自動計測の間隔を[0'05]または[2'00]から選びます。
[0'05]: 1秒おきに3分間計測後、5秒おきに約1時間計測
[2'00]: 1秒おきに3分間計測後、2分おきに約12時間計測
5. リゅうずを戻し、ロックします。

参考

- リゅうずを引いた状態で2分以上何も操作しないと、操作が効かなくなります。その場合は、リゅうずをいったん戻し、再度引いてください。
- 高度計測モードで、[0'05]に設定したときは約1時間、[2'00]に設定したときは約12時間何も操作しないと時刻モードに戻ります。

高度を記録する

計測した高度データを手動で記録することができます。また、自動計測で計測された高度データは、自動で記録されます。

- 記録したデータの確認や削除は、高度記録の確認モードでできます。

🔍 高度記録の確認

●手動で高度データを記録する

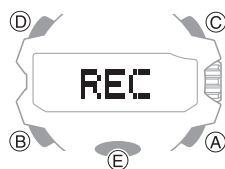
1. 高度計測モードにします。

🔍 モードを切り替える

2. [REC]が表示されるまで2秒以上、A ボタンを押し続けます。

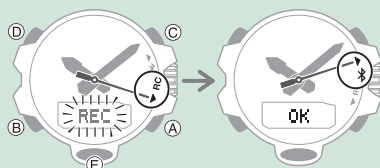
高度と日時が記録されます。

- 高度は、30 本まで記録できます。
- 31 本目のデータを記録すると、一番古いデータが消去されます。



参考

- ミッションログ機能がオフのとき、高度データを記録した後、高度計測モードの通常状態へ自動で戻ります。
- ミッションログ機能がオンのとき、高度データを記録した後、スマートフォンと接続してデータを転送します。時計とスマートフォンが接続すると、[REC]から[OK]に変わり、秒針が[RC]から🌐に移動します。

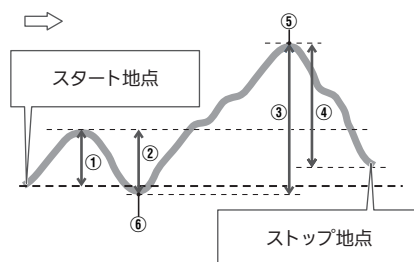


🔍 移動した場所の高度と経路を記録する(ミッションログ機能)

- 接続に失敗すると、[ERR]を表示します。

●自動で高度データを記録する

高度計測モードにすると、以下の高度データが記録されます。記録されるデータは項目ごとに1つです。



最高高度 (MAX) : ⑤

最低高度 (MIN) : ⑥

積算上昇高度 (ASC) : ①+③*

積算下降高度 (DSC) : ②+④*

* 計測値に 15m 以上の高度差が生じたときに記録されます。

参考

- 高度計測モード以外のモードに切り替えると、自動計測が終了します。高度計測モードに再び切り替えると、その時点から前回の記録に引き続き積算計測が再開します。
- ミッションログ機能がオンのときは、高度計測モード以外のモードに切り替えても自動計測を継続します。
- 自動計測中、ミッションログ機能がオンの場合、計測ごとに MAX、MIN、ASC、DSC の現記録値と計測値との比較や更新をします。
🔍 移動した場所の高度と経路を記録する(ミッションログ機能)
- 接続に失敗すると、[ERR]を表示します。

高度計測のご注意

温度の影響について

高度を計測するときは、以下のように、できるだけ時計自体の温度を一定に保ってください。温度変化の影響を受けると多少の誤差が出ることがあります。

- 腕につけたままで計測する
- 温度が安定した場所で計測する

高度計測について

- スカイダイビング、ハンググライダー、パラグライダーをしているとき、またはジャイロコプター、グライダーのように短時間で高度が変化する場合、使用しないでください。
- この時計で計測した高度を、専門的または産業レベルで利用しないでください。
- 航空機内では、機内の気圧で高度を計測するため、機内でアナウンスされる高度と一致しません。

高度計測のしくみ(相対高度)

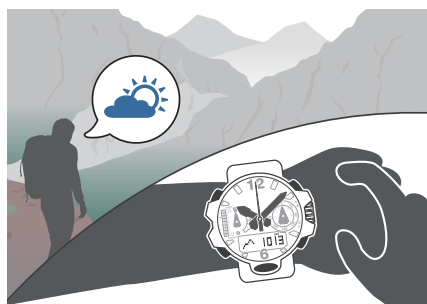
この時計では、国際民間航空機関 (ICAO) が定めている国際標準大気 (ISA) の定義をもとに、「相対高度」を表示します。一般的には、高度が上がると気圧は低くなります。

以下の条件下では、正しい計測ができない場合があります。

- 気象条件により、大気圧に変化が生じたとき
- 気温の変化が大きいつき
- 時計が強い衝撃を受けたとき

気圧計測

現在地の気圧、気圧の変化や傾向を確認することができます。



重要

- 正確な計測のために、以下をご覧ください。
- 🔗 気圧の計測値を補正(オフセット)する
- 🔗 気圧計測のご注意

気圧を確認する

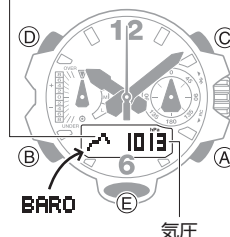
1. 気圧計測モードにします。

🔗 モードを切り替える

気圧計測モードに切り替えると計測が始まり、現在の気圧と気圧傾向グラフが表示されます。

- 気圧計測モードに切り替えてから3分間は約5秒ごとに気圧が計測されます。それ以降は、約2分ごとに計測されます。

気圧傾向グラフ



- 再計測する場合は、A ボタンを押します。
- 時刻モードに戻るには、B ボタンを2秒以上押し続けます。

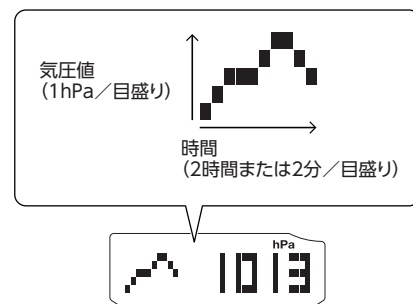
参考

- 気圧計測で時針や分針が液晶表示に重なったときは、計測値を見やすくするために、22秒位置または38秒位置に一時的に針が退避します。約3秒後に針は退避前の状態に戻ります。
- 気圧計測モードに切り替えたときに、前回気圧を計測したときの状態が保持されていると、機能針は気圧差を示します。
- 🔗 気圧差を確認する
- 気圧計測モードで、約1時間何も操作しないと時刻モードに戻ります。
- 計測範囲は260hPa～1,100hPa(1hPa単位)です。計測範囲を超えたときは、[--]が表示されます。

気圧の変化を確認する

この時計は、2時間ごとまたは2分ごとの気圧をグラフで表示します。

過去20時間または20分間の気圧の変化をグラフで見ることができます。グラフ右端の■が最新の気圧値です。



● 気圧傾向グラフの計測間隔を切り替える

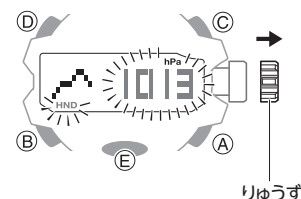
気圧傾向グラフの計測間隔を、2時間間隔、または2分間隔に切り替えることができます。

1. 気圧計測モードにします。

🔗 モードを切り替える

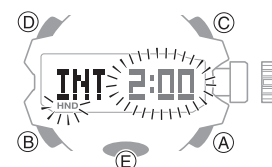
2. リゅうずを緩めてから引きます。

現在の気圧が表示されます。



3. B ボタンを押します。

計測間隔が表示されます。



4. リゅうずを回して、計測間隔を[0:02]または[2:00]から選びます。

[0:02]: 気圧傾向グラフが2分間隔のとき、気圧を5秒ごとに計測します。

[2:00]: 気圧傾向グラフが2時間間隔のとき、気圧を2分ごとに計測します。

5. リゅうずを戻し、ロックします。

参考

- 2分間隔のグラフに切り替えても、24時間後には自動的に2時間間隔のグラフに戻ります。
- 2分間隔のグラフに切り替えた直後は、グラフは表示されません。

●今後の天気を予想する

表示	意味
	グラフが上昇しているときは、気圧が上ががり傾向(天気がよくなる)という目安になります。
	グラフが下降しているときは、気圧が下がり傾向(天気が悪くなる)という目安になります。

参考

- 気圧や高度が大きく変化すると、過去のデータがグラフ表示領域から外れて見えなくなることがあります(見えなくてもデータは存在しています)。
 - 気圧傾向インフォメーションが表示されたときは、気圧傾向グラフは表示されません。
- 🔗 気圧の急激な変化を知らせる

気圧差を確認する

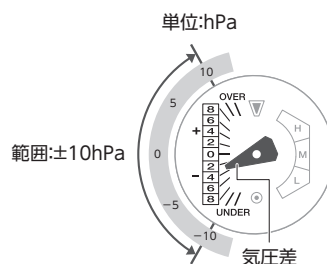
気圧計測モードで計測された現在の値と、2時間ごとまたは2分ごとに自動計測された最新の値の差を機能針で確認できます。

1. 気圧計測モードにします。

🔗 モードを切り替える

機能針が気圧差を示します(気圧差インジケーター)。

例: 気圧差が-3hPa(計測間隔2時間)の場合



参考

- 気圧差が+10hPaを超えると機能針が[OVER]を、気圧差が-10hPaを超えると[UNDER]を示します。
- 計測範囲(260hPa~1,100hPa)を超えたときや計測エラーが発生したときは、機能針が[0]を示します。

気圧の急激な変化を知らせる

注意すべき気圧の変化(急降下、急上昇、低気圧通過、高気圧通過)を時計が検知したときに、音でお知らせすることができます。また、気圧計測モードや、時刻モードで気圧傾向グラフを表示しているときは、画面に矢印が点滅で表示されます。この矢印で気圧変化の傾向を確認できます。このような告知を気圧傾向インフォメーションと呼びます。

表示	意味
	気圧が急激に下降した
	気圧が急激に上昇した
	気圧が上昇を続けた後、下降に転じた
	気圧が下降を続けた後、上昇に転じた

重要

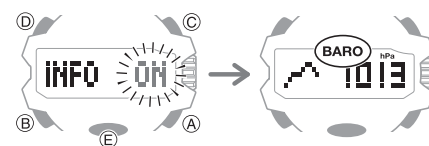
- 正しく計測するため、高度に変化がない場所で、気圧傾向インフォメーションをオンにしてください(例: 山小屋やテント滞在時、海上)。
- 高度に変化があると、気圧も変化します。そのため、正しい計測ができません。登山などで昇降するときは計測しないでください。

1. 気圧計測モードにします。

🔗 モードを切り替える

2. D ボタンを2秒以上押し続けます。

気圧傾向インフォメーションがオンになると、[INFO ON]が点滅から点灯に変わり、[BARO]が点灯します。



3. 気圧傾向インフォメーションをオフにする場合は、再度 D ボタンを2秒以上押し続けます。

参考

- 気圧傾向インフォメーションをオンにすると、気圧計測モード以外のモードのときでも 2 分ごとに気圧を計測します。
- 気圧傾向インフォメーションをオンにしてから 24 時間経過すると、自動でオフに戻ります。
- 電池が不足しているときは、気圧傾向インフォメーションをオンにすることはできません。
- 電池が不足すると、気圧傾向インフォメーションは自動的にオフになります。

気圧の計測値を補正(オフセット)する

内蔵の圧力センサーは、工場出荷時に調整されているため、通常は補正の必要がありません。ただし、計測値に大きなずれが発生したときは、表示を補正できます。

重要

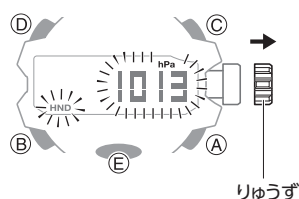
- 補正を誤ると正しい計測結果が得られません。正確な気圧計と照らし合わせて正しい数値に補正してください。

1. 気圧計測モードにします。

🔍 モードを切り替える

2. リゅうずを緩めてから引きます。

現在の気圧が表示され、気圧オフセットモードになります。



3. リゅうずを回して、値を変更します。

セット範囲: 260~1,100hPa

セット単位: 1hPa

- 工場出荷時の値に戻すには、A ボタンと C ボタンを同時に押します。

4. リゅうずを戻し、ロックします。

参考

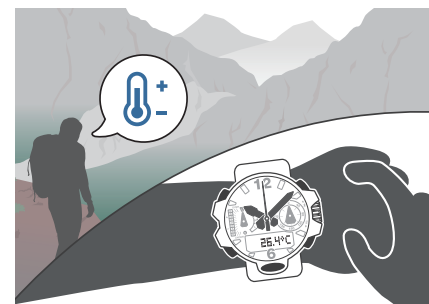
- リゅうずを引いた状態で 2 分以上何も操作しないと、操作が効かなくなります。その場合は、リゅうずをいったん戻し、再度引いてください。

気圧計測のご注意

- この時計で計測した気圧傾向グラフは、天候を予測する際の目安として使用できます。ただし、公式の天気予報や報道活動では、精密機器として使用しないでください。
- 圧力センサーは、急激な温度の変化に影響を受ける場合があります。その結果、計測した数値に多少の誤差が出ることがあります。

温度計測

現在の気温を計測できます。



重要

- 正確な計測のために、以下をご覧ください。
🔍 温度計測のご注意

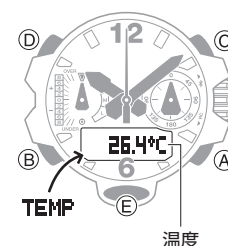
温度を確認する

1. 温度計測モードにします。

🔍 モードを切り替える

温度計測モードに切り替えると計測が始まり、計測結果が表示されます。

- 温度計測モードに切り替えてから 3 分間は約 5 秒ごとに計測されます。それ以降は、約 2 分ごとに計測されます。
- 再計測する場合は、A ボタンを押します。



参考

- 温度計測で時針や分針が液晶表示に重なったときは、計測値を見やすくするために、22 秒位置または 38 秒位置に一時的に針が退避します。約 3 秒後に針は退避前の状態に戻ります。
- 温度計測モードで、約 1 時間何も操作しないと時刻モードに戻ります。
- 計測範囲は -10.0°C ~ 60.0°C (0.1°C 単位) です。計測範囲を超えたときは、[-.-]が表示されます。
- 時刻モードに戻るには、B ボタンを 2 秒以上押し続けます。

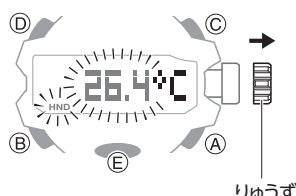
温度計測値を補正(オフセット)する

内蔵の温度センサーは、工場出荷時に調整されています。通常は補正の必要はありません。ただし、計測値に大きなずれが発生したときは、表示を補正できます。

重要

- 正確な温度計と照らし合わせて正しい数値に補正してください。
- 時計を腕から外し、時計本体が周囲の温度になじむまで(20~30分)待ってから、補正してください。

- 温度計測モードにします。
○モードを切り替える
- リゅうずを緩めてから引きます。
温度が表示されます。



- リゅうずを回して、温度を補正します。
補正単位: 0.1°C
 - 工場出荷時の値に戻すには、A ボタンと C ボタンを同時に押します。
- リゅうずを戻し、ロックします。

参考

- リゅうずを引いた状態で2分以上何も操作しないと、操作が効かなくなります。その場合は、リゅうずをいったん戻し、再度引いてください。

温度計測のご注意

温度計測は体温、直射日光、湿気の影響を受けます。正確な温度を計測するためには、腕から時計を外して水分を拭き取り、換気が良く直射日光の当たらない所に置いてください。約20~30分で周囲の温度を計測できます。

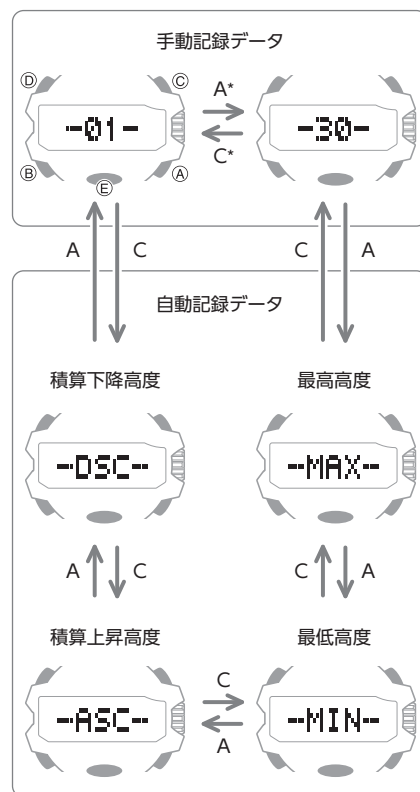
高度記録の確認

高度記録の確認モードでは、高度計測で記録した手動記録/自動記録のデータを見ることができます。

○高度を記録する

記録したデータを見る

- 高度記録の確認モードにします。
○モードを切り替える
高度計測モードで記録したデータの1つが表示されます。
- A または C ボタンを押して、表示するデータを切り替えます。
 - A または C ボタンを押し続けると早送りできます。



* 手動記録データは、ボタンを押すごとに1([-01-])から最大で30([-30-])まで選ぶことができます。

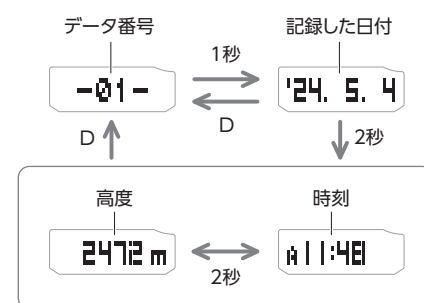
参考

- データ消去後やエラーなどでデータがない場合は、[- - -]または[0]が表示されます。
- 積算上昇高度(ASC)または積算下降高度(DSC)が99,999mを超えると、0から積算します。
- D ボタンを押すと、表示しているデータの最初の表示に戻ります。
- 高度記録の確認モードのとき、何も操作せず約3分間経過すると自動的に時刻モードに戻ります。

●手動記録データの表示

手動記録データ(01~30)を選ぶと、以下のように表示が切り替わります。

例: 手動記録データ 01

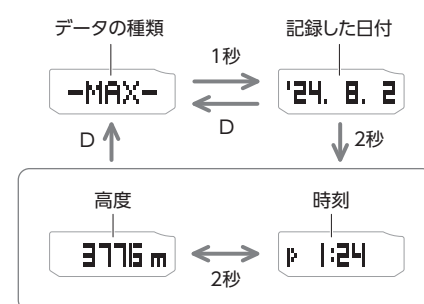


●自動記録データの表示

自動記録データを選ぶと、以下のように表示が切り替わります。

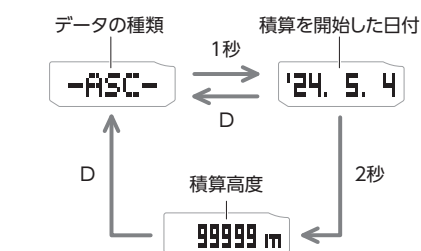
最高高度、最低高度の場合

例: 最高高度



積算上昇高度、積算下降高度の場合

例: 積算上昇高度



データを消去する

●特定のデータを消去する

1. 高度記録の確認モードにします。
☞ [モードを切り替える](#)
2. A または C ボタンを押して、消去するデータを選びます。
3. D ボタンを 2 秒以上押し続け、[CLEAR] が表示されたら指を離します。
選んだデータが消去されます。



- D ボタンを 5 秒以上押し続けると、すべてのデータが消去されますので、ご注意ください。

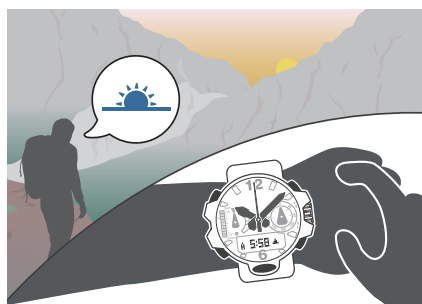
●すべてのデータを消去する

[CLEAR ALL] が表示されるまで 5 秒以上 D ボタンを押し続けると、すべてのデータが消去されます。



日の出/日の入り時刻

ホーム都市の日の出と日の入り時刻を確認できます。

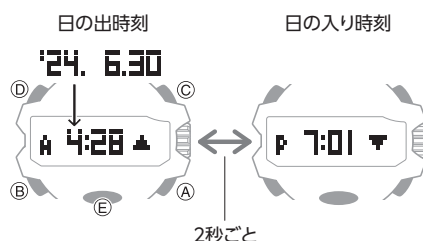


日の出/日の入り時刻を調べる

1. 日の出/日の入りモードにします。

☞ [モードを切り替える](#)

ホーム都市の今日の日の出と日の入り時刻を 2 秒ごとに表示します。

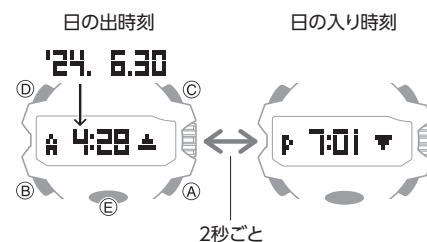


参考

- 日の出/日の入り時刻は、時計内部で計算して出力します。計算結果には誤差があり、高緯度ほど誤差が大きくなります。
- 計算結果が出力できないときは、[--:--] が表示されます。
- 日の出/日の入りモードのとき、何も操作せず約 3 分間経過すると自動的に時刻モードに戻ります。

日にちを指定して日の出/日の入り時刻を調べる

1. 日の出/日の入りモードにします。
☞ [モードを切り替える](#)
2. A または C ボタンを押して、日にちを設定します。
設定した日にちの日の出と日の入り時刻が表示されます。



参考

- 日の出/日の入り時刻は、時計内部で計算して出力します。計算結果には誤差があり、高緯度ほど誤差が大きくなります。
- 計算結果が出力できないときは、[--:--] が表示されます。
- 日の出/日の入りモードのとき、何も操作せず約 3 分間経過すると自動的に時刻モードに戻ります。

ストップウォッチ

1/100 秒単位で 23 時間 59 分 59 秒 99 まで計測ができます。

通常の計測のほかに、スプリットタイムも計測できます。



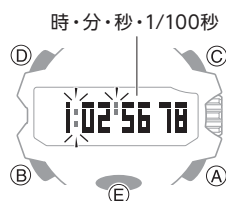
計測する

- ストップウォッチモードにします。

☞ [モードを切り替える](#)

- 以下の操作で計測します。

- ① スタート
↓
② ストップ
↓
③ 再スタート
↓
④ ストップ



- C ボタンを押して、計測をリセットします。

スプリットタイムを計測する

- ストップウォッチモードにします。

☞ [モードを切り替える](#)

- 以下の操作で計測します。

- ① スタート
↓
② スプリット
↓
③ スプリット解除
↓
④ ストップ



- C ボタンを押して、計測をリセットします。

1・2 着を同時に計測する

- ストップウォッチモードにします。

☞ [モードを切り替える](#)

- 以下の操作で計測します。

- ① スタート
↓
② 1着ゴール *
↓
③ 2着ゴール *

* 1 着の計測値が表示されます。

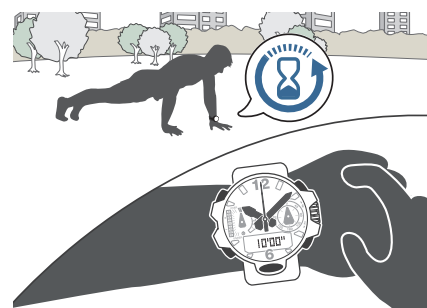


- C ボタンを押して、2 着の計測値を表示します。
- C ボタンを押して、計測をリセットします。

タイマー

設定した時間をカウントダウンします。残り時間がゼロになると音でお知らせします。

- 電池が不足しているときは音が鳴りません。



CASIO WATCHES でタイマーをセットする

スマートフォンとペアリングしている場合は、CASIO WATCHES を使ってタイマーの時間を設定することもできます。

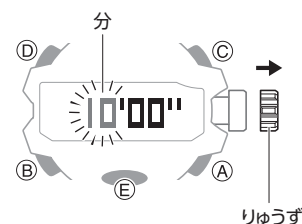
☞ [時計の各種機能を設定する](#)

時間を設定する

タイマーは、1 分単位で 60 分まで設定できます。

- タイマーモードにします。
- リゅうずを緩めてから引きます。

「分」が点滅します。



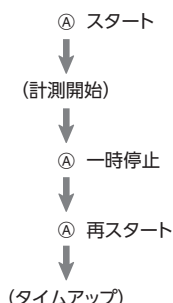
- リゅうずを回して、タイマーの「分」を設定します。
- リゅうずを戻し、ロックします。

参考

- リゅうずを引いた状態で 2 分以上何も操作しないと、操作が効かなくなります。その場合は、リゅうずをいったん戻し、再度引いてください。

タイマーを使う

1. タイマーモードにします。
🔄 モードを切り替える
2. 以下の操作で計測します。



- 残り時間がゼロになると、音を 10 秒間鳴らしてお知らせします。
 - 一時停止中に C ボタンを押すと、タイマーをリセットできます。
3. いずれかのボタンを押して、音を止めます。

針の補正

強い磁気や衝撃を受けると、針の時刻と画面の時刻が合わなくなることがあります。そのようなときは、針の位置を補正します。

CASIO WATCHES で針の位置を補正する

スマートフォンとペアリングしている場合は、CASIO WATCHES を使って針の位置を補正することもできます。

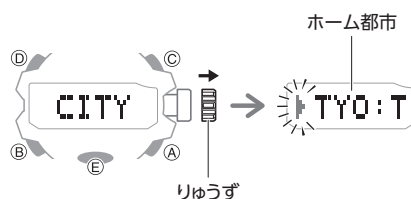
🔄 針の位置を補正する

針の位置を補正する

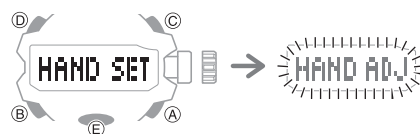
1. 時刻モードにします。
🔄 モードを切り替える
2. リゅうずを緩めてから引きます。

現在設定しているホーム都市を表示します。

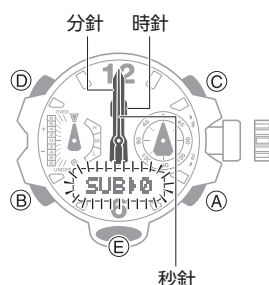
- 秒針が 12 時位置に移動します。



3. A ボタンを 5 秒以上押し続け、[HAND SET] が点灯し、秒針が 1 周したら指を離します。
[HAND ADJ] が点滅して、時針、分針、秒針の自動補正が始まります。

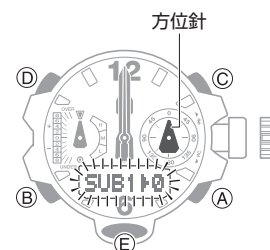


- 補正が完了すると、針の位置は以下のようになります。



4. B ボタンを押します。

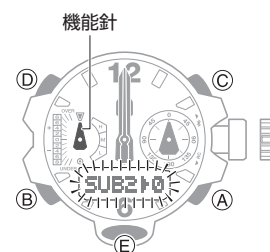
方位針を補正できるようになります。



5. 方位針が 12 時位置になっていないときは、リゅうずを回して方位針を 12 時位置に合わせます。

6. B ボタンを押します。

機能針を補正できるようになります。



7. 機能針が 12 時位置になっていないときは、リゅうずを回して機能針を 12 時位置に合わせます。

8. リゅうずを戻し、ロックします。

針が時刻表示に戻ります。

参考

- リゅうずを引いた状態で 2 分以上何も操作しないと、操作が効かなくなります。その場合は、リゅうずをいったん戻し、再度引いてください。

重要

- 針の位置補正が終了したら、時刻モードで、針の時刻と画面の時刻が合っているかご確認ください。もし針の位置がずれている場合は、再度、手順 2 から手順 8 を操作してください。

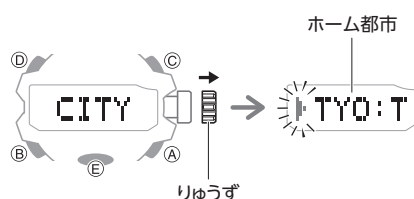
その他の設定

時計の各種設定を変更できます。

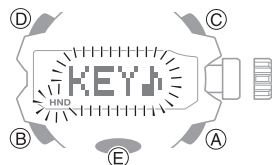
ボタンの操作音を設定する

ボタンを押したときに音が鳴る/鳴らないを設定できます。

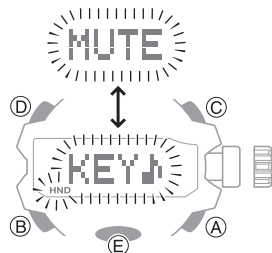
1. 時刻モードにします。
🕒 モードを切り替える
2. リゅうずを緩めてから引きます。
現在設定しているホーム都市を表示します。



3. B ボタンを 2 回押します。
[KEY♪] または [MUTE] が点滅します。



4. リゅうずを回して、[KEY♪] または [MUTE] を選びます。
[KEY♪]: 操作音が鳴ります。
[MUTE]: 操作音が鳴りません。



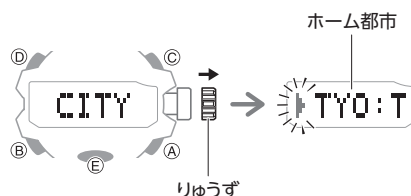
5. リゅうずを戻し、ロックします。

参考

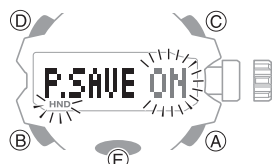
- リゅうずを引いた状態で 2 分以上何も操作しないと、操作が効かなくなります。その場合は、リゅうずをいったん戻し、再度引いてください。
- 操作音が鳴らないように設定しても、アラームやタイマーの音は鳴ります。

パワーセービング機能を設定する

1. 時刻モードにします。
🕒 モードを切り替える
2. リゅうずを緩めてから引きます。
現在設定しているホーム都市を表示します。



3. B ボタンを 6 回押します。
[P.SAVE] が表示されます。



4. リゅうずを回して、オンとオフを切り替えます。
[ON]: パワーセービング機能がオンになります。
[OFF]: パワーセービング機能がオフになります。
5. リゅうずを戻し、ロックします。

参考

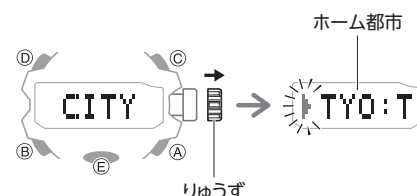
- リゅうずを引いた状態で 2 分以上何も操作しないと、操作が効かなくなります。その場合は、リゅうずをいったん戻し、再度引いてください。
- パワーセービング機能については、下記を参照してください。
🕒 節電 (パワーセービング機能)

時計の設定をリセットする

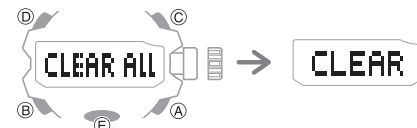
時計の以下の設定を、お買い上げ時の状態に戻すことができます。

- 時計の各種設定
- 方位計
- 高度計
- 気圧計
- 温度計
- 高度計測記録
- ストップウォッチ
- タイマー
- アラーム

1. 時刻モードにします。
🕒 モードを切り替える
2. リゅうずを緩めてから引きます。
現在設定しているホーム都市を表示します。



3. D ボタンを 7 秒以上押し続け、[CLEAR ALL] から [CLEAR] に表示が変わったら指を離します。



4. リゅうずを戻し、ロックします。

重要

- ミッションログ機能がオンのときは、リセット操作できません。
🕒 移動した場所の高度と経路を記録する (ミッションログ機能)

参考

- リゅうずを引いた状態で 2 分以上何も操作しないと、操作が効かなくなります。その場合は、リゅうずをいったん戻し、再度引いてください。
- 時計をリセットすると、時計からスマートフォンのペアリング情報が削除され、スマートフォンとのペアリングが解除されます。

補足

操作説明以外に必要な情報はここにまとめています。必要に応じてご覧ください。

都市一覧

都市		UTC からの時差
UTC	協定世界時	0
LIS: LISBON *	リスボン	
LON: LONDON *	ロンドン	
MAD: MADRID *	マドリード	
PAR: PARIS *	パリ	+1
ROM: ROME *	ローマ	
BER: BERLIN *	ベルリン	
STO: STOCKHOLM *	ストックホルム	
ATH: ATHENS *	アテネ	+2
CAI: CAIRO	カイロ	
JRS: JERUSALEM	エルサレム	
MOW: MOSCOW *	モスクワ	
JED: JEDDAH	ジェッダ	+3
THR: TEHRAN	テヘラン	
DXB: DUBAI	ドバイ	
KBL: KABUL	カブール	
KHI: KARACHI	カラチ	+5
DEL: DELHI	デリー	
KTM: KATHMANDU	カトマンズ	
DAC: DHAKA	ダッカ	
RGN: YANGON	ヤンゴン	+6.5
BKK: BANGKOK	バンコク	

都市		UTC からの時差
SIN: SINGAPORE	シンガポール	+8
HKG: HONG KONG *	香港	
BJS: BEIJING *	北京	
TPE: TAIPEI *	台北	
EUC: EUCLA	ユークラ	+8.75
SEL: SEOUL *	ソウル	+9
TYO: TOKYO *	東京	
ADL: ADELAIDE	アデレード	
GUM: GUAM	グアム	
SYD: SYDNEY	シドニー	+10
LDH: LORD HOWE ISLAND	ロードハウ島	
NOU: NOUMEA	ヌーメア	
WLG: WELLINGTON	ウェリントン	
CHT: CHATHAM ISLAND	チャタム島	+12.75
TBU: NUKUALOFA	ヌクアロファ	+13
CXI: KIRITIMATI	キリスィマスィ島	+14
BAR: BAKER ISLAND	ベーカー島	-12
PPG: PAGO PAGO	パゴパゴ	-11
HNL: HONOLULU	ホノルル	-10
NHV: MARQUESAS ISLANDS	マルキーズ諸島	-9.5
ANC: ANCHORAGE	アンカレジ	-9
YVR: VANCOUVER *	バンクーバー	-8
LAX: LOS ANGELES *	ロサンゼルス	
YEA: EDMONTON *	エドモントン	
DEN: DENVER *	デンバー	
MEX: MEXICO CITY *	メキシコシティ	-6
CHI: CHICAGO *	シカゴ	
NYC: NEW YORK *	ニューヨーク	
YHZ: HALIFAX *	ハリファックス	

都市		UTC からの時差
YYT: ST. JOHN'S	セントジョンズ	-3.5
BUE: BUENOS AIRES	ブエノスアイレス	-3
RIO: RIO DE JANEIRO	リオデジャネイロ	
FEN: F. DE NORONHA	フェルナンド・デ・ノローニャ	
RAI: PRAIA	プライア	-1

- * 標準電波を受信できる都市です。
- この表は 2023 年 1 月現在のものです。
 - タイムゾーンの変更により、UTC からの時差は上表と異なる可能性があります。

サマータイム期間一覧

サマータイムを導入している都市でサマータイムの設定を[AUTO]にすると、以下のタイミングで時刻が切り替わります。

参考

- 現在地のサマータイムの開始、終了タイミングが変更になるなどで下表と異なることがあります。その場合は、スマートフォンと接続すると、ホーム都市とワールドタイム都市の新しいサマータイムの情報が時計に送られます。スマートフォンと接続しない場合は、手動でサマータイムの設定を切り替えてください。

都市名	サマータイム開始	サマータイム終了
リスボン	3 月最終日 曜 1 時	10 月最終日 曜 2 時
ロンドン	3 月最終日 曜 1 時	10 月最終日 曜 2 時
マドリード	3 月最終日 曜 2 時	10 月最終日 曜 3 時
パリ	3 月最終日 曜 2 時	10 月最終日 曜 3 時
ローマ	3 月最終日 曜 2 時	10 月最終日 曜 3 時
ベルリン	3 月最終日 曜 2 時	10 月最終日 曜 3 時
ストックホルム	3 月最終日 曜 2 時	10 月最終日 曜 3 時
アテネ	3 月最終日 曜 3 時	10 月最終日 曜 4 時
エルサレム	3 月最終日 曜 直前の金曜 2 時	10 月最終日 曜 2 時
シドニー、アデレード	10 月第 1 日 曜 2 時	4 月第 1 日 曜 3 時
ロードハウ島	10 月第 1 日 曜 2 時	4 月第 1 日 曜 2 時
ウェリントン	9 月最終日 曜 2 時	4 月第 1 日 曜 3 時
チャタム島	9 月最終日 曜 2 時 45 分	4 月第 1 日 曜 3 時 45 分

都市名	サマータイム開始	サマータイム終了
アンカレジ	3月第2日曜2時	11月第1日曜2時
バンクーバー	3月第2日曜2時	11月第1日曜2時
ロサンゼルス	3月第2日曜2時	11月第1日曜2時
エドモントン	3月第2日曜2時	11月第1日曜2時
デンバー	3月第2日曜2時	11月第1日曜2時
シカゴ	3月第2日曜2時	11月第1日曜2時
ニューヨーク	3月第2日曜2時	11月第1日曜2時
ハリファックス	3月第2日曜2時	11月第1日曜2時
セントジョンズ	3月第2日曜2時	11月第1日曜2時

●この表は 2023 年 1 月現在のものです。

対応するスマートフォン

本機と通信できるスマートフォンについては
カシオホームページでご確認いただけます。

https://world.casio.com/os_mobile/wat/

仕様一覧

精度：

電波受信、またはスマートフォンとの通信
による時刻合わせができない場合は、平均
月差±15 秒

基本機能：

アナログ部
時・分(10 秒運針)・秒
デジタル部
時・分・秒・月・日・曜日
気圧傾向グラフ
午前(A)/午後(P)/24 時間制表示
フルオートカレンダー(2000~2099 年)

電波受信機能：

自動受信・手動受信
受信日時確認機能
サマータイム自動切り替え
受信局自動選択機能(JJY、MSF/DCF77 で
対応)
受信電波 コールサイン：
JJY(40kHz/60kHz)、WWVB(60kHz)、
MSF(60kHz)、DCF77(77.5kHz)、BPC
(68.5kHz)
自動受信オン/オフ切り替え機能

方位計測機能：

計測範囲 0°~359°
計測単位 液晶部 1°、針部 6°
16 方位表示
方位連続計測(1 分)
北方位指針機能
自動水平補正機能
方位補正機能(3 点補正、8 の字補正、磁気偏
角補正)
ベアリングメモリー機能

高度計測機能(相対高度計)：

計測範囲 -700m~10,000m
表示範囲 -3,000m~10,000m
(高度補正により、上記の範囲内で、任意の
10,700m の表示が可能)
計測単位 1m
高度計測間隔設定(2 分/5 秒)
高度補正機能
高度傾向グラフ
高度差計測機能(-100~+100m/-1,000~
+1,000m)
高度差インジケーター
高度メモリー機能
手動記録データ
ボタン操作で高度、年月日、および時刻
を最大 30 本メモリー
自動記録データ
最高高度、最低高度、積算上昇高度、積
算下降高度を 1 本メモリー

気圧計測機能：

計測範囲 260hPa~1,100hPa
表示範囲 260hPa~1,100hPa
計測単位 1hPa
気圧補正機能
気圧傾向グラフ
グラフ間隔設定(2 分/2 時間)
気圧差インジケーター
気圧傾向インフォメーション

温度計測機能：

計測範囲 -10.0°C~60.0°C
表示範囲 -10.0°C~60.0°C
計測単位 0.1°C
温度補正機能

センサー精度：

方位センサー
計測精度 ±10°以内
(精度保証温度範囲 10°C~40°C)
方位の針表示では±2 目盛以内
圧力センサー
計測精度 ±3hPa 以内
(高度計測精度 ±75m 以内)
●精度保証温度範囲 -10°C~40°C
●強い衝撃を与えたり、極端な温度環境
下に放置したりすると、精度に対して
悪影響を与えることがあります。
温度センサー
計測精度 ±2°C 以内
(精度保証温度範囲 -10°C~60°C)

日の出/日の入り機能：

日の出/日の入り時刻表示(計算結果が出力
できないときは、[--:--]を表示)
日付セレクト機能

ストップウォッチ機能：

計測単位 1/100 秒
計測範囲
23 時間 59 分 59 秒 99(24 時間計)
計測機能
通常計測、積算計測、スプリット計測、
1・2 着同時計測

タイマー機能：

セット単位 1 分
計測範囲 60 分
計測単位 1 秒
タイマー報音時間 10 秒間

アラーム機能：

時刻アラーム
アラーム数 5 本
セット単位 時・分
アラーム報音時間 20 秒間
時報 毎正時に電子音で報知

ワールドタイム機能：

世界 55 都市 (38 タイムゾーン) と UTC (協定世界時) の時刻を表示
サマータイム設定機能
都市入れ替え機能
UTC ダイレクト呼び出し機能

モバイルリンク機能：

自動時刻修正機能
決まった時刻に自動で時計を合わせる
ワンタッチ時刻修正
手動で接続して時刻を合わせる
携帯電話探索機能
時計操作により、スマートフォンの音を鳴らす
ワールドタイム
約 300 都市の時刻を時計に設定する
サマータイム自動切り替え機能
スタンダードタイム/サマータイムを自動で切り替える
ミッションログ機能
移動した場所の高度と経路を記録
ロケーションインジケータ機能
時計上で登録した場所までの方位と距離を表示

高度自動補正機能

決まった時刻に自動で高度を合わせる
タイマー設定
アラーム設定
モードの並び順とモードの数を設定
高度計設定
針位置補正機能
TIME & PLACE
アプリインフォメーション受信
アプリ内更新情報などを時計に表示する機能

通信仕様

Bluetooth®

周波数帯域 2400MHz~2480MHz
最大送信電力 0dBm (1mW)
通信距離 ~2m (環境により変化)

その他：

高輝度ダブル LED ライト：文字板用 LED ライトおよび LCD 部用バックライト (フルオートライト、残照機能、残照時間切り替え (1.5 秒/3 秒) 付き)、針位置自動補正機能、パワーセービング機能、電池切れ予告機能、操作音オン/オフ、針退避機能

使用電池：

二次電池 CTL1616
公称電圧 2.3V
持続時間 約 6 か月
使用条件：
スマートフォンによる自動時刻合わせ 4 回/日
アラーム 1 回 (20 秒間)/日
ライト点灯 1 回 (1.5 秒)/日
方位計測 連続計測 60 秒を 20 回/月
登山 1 回/月
- 高度計測
1 秒ごと 3 分間+5 秒ごと 57 分間
- 気圧傾向インフォメーション計測
1 秒ごと 3 分間+2 分ごと 23 時間 57 分間
- ミッションログ計測
2 分ごと 12 時間
- ロケーションインジケータ計測
3 分間を 10 回
気圧傾向グラフ計測 12 回/日

改良などのため、仕様は予告なく変更されることがあります。

商標、登録商標について

- Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、カシオ計算機 (株) はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
- iPhone、App Store は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- IOS は米国シスコの商標または登録商標です。
- iPhone 商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- Android および Google Play™ は、Google LLC の商標または登録商標です。
- その他の会社名・商品名は、各社の商標または登録商標です。

困ったときは

電波受信 (標準電波)

Q1 電波を受信できない

時計は充電されていますか？

充電不足の場合は、電波を受信できません。充電量が回復するまで光を当ててください。

↓ [充電する](#)

時計は時刻モードになっていますか？

時刻モード以外のモードのときは電波を受信できません。時刻モードに戻してください。

↓ [モードを切り替える](#)

ホーム都市は正しく設定されていますか？

ホーム都市が間違っていると、正しい時刻を表示しません。ホーム都市を正しく設定してください。

↓ [ホーム都市を設定する](#)

それでも電波を受信できない

時計が以下の状態のときは、標準電波を受信できません。

- 節電状態レベル 2 のとき
- りゅうずを引いているとき
- タイマー計測中

受信に成功しないときは、時刻や日付を手動で合わせてください。

Q2 電波の受信が成功しない

受信に適した場所ですか？

周辺の環境を確認し、電波を受信しやすい所で受信してください。

↓ **Q 受信に適した場所**

受信中は時計に触れるのを控えていますか？

受信中はできるだけ時計を動かしたり、操作したりしないでください。

受信中はアラームが鳴らない設定ですか？

受信中にアラームが鳴ると受信が中止します。アラームをオフにしてください。

↓ **Q アラームや時報を解除する**

送信所から電波が送信されていますか？

送信所から標準電波が送信されていない可能性があります。

独立行政法人情報通信研究機構 (NICT) 日本標準時グループのホームページ等をご確認ください。

Q3 受信に成功したはずなのに、時刻や日付が合わない

1 時間単位、あるいは 30 分単位でずれていますか？

違う時差の時刻を表示している可能性があります。ホーム都市をお使いの地域に設定してください。

↓ **Q ホーム都市を設定する**

合っていないのは時・分ですか？

時計と分針の位置が合っていない可能性があります。「針の補正」で時計と分針の位置を自動補正してください。

↓ **Q 針の補正**

それでも日時が合わない

時刻や日付を手動で合わせてください。

Q 時計を操作して時刻を合わせる

ペアリングできない

Q1 時計とスマートフォンが一度も接続 (ペアリング) できない

機種は対応していますか？

お使いのスマートフォンと OS が対応機種となっているかご確認ください。対応機種についてはカシオホームページをご覧ください。

↓ https://world.casio.com/os_mobile/wat/

CASIO WATCHES をインストールしましたか？

時計と接続するためには、CASIO WATCHES をスマートフォンにインストールする必要があります。

↓ **Q ① アプリケーションをインストールする**

Bluetooth は設定しましたか？

スマートフォンの Bluetooth を設定してください。設定方法の詳細についてはスマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

iPhone をお使いの方

- 「設定」→「Bluetooth」→ オン
- 「設定」→「プライバシー」→「Bluetooth」→「CASIO WATCHES」→ オン

Android をお使いの方

- Bluetooth をオンにしてください。

上記以外

一部のスマートフォンで CASIO WATCHES を使用する場合、スマートフォンで BT Smart の設定を無効にする必要があります。設定方法の詳細についてはスマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

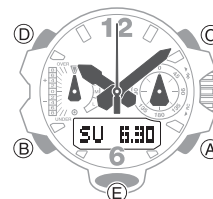
ホーム画面で「メニュー」→「本体設定」→「Bluetooth」→「メニュー」→「BT Smart 設定」→「無効にする」

再接続できない

Q1 時計とスマートフォンが再接続できない

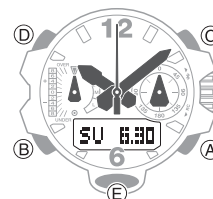
CASIO WATCHES は起動していますか？

CASIO WATCHES が終了していると、時計とスマートフォンの再接続ができません。スマートフォンのホーム画面で「CASIO WATCHES」アイコンをタップした後、時計の B ボタンを 5 秒以上押し続けてください。



スマートフォンを確認しましたか？

スマートフォンの電源を入れ直し、「CASIO WATCHES」アイコンをタップしてから、時計の B ボタンを 5 秒以上押し続けてください。

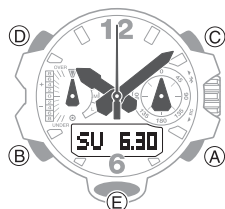


タイマーで計測中ですか？

タイマーの残り時間が 30 秒以下のときは、スマートフォンと接続できません。タイマーの計測を停止してから、スマートフォンと接続してください。

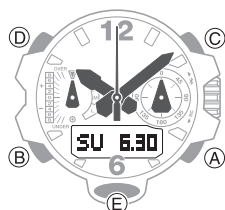
Q2 スマートフォンの機内モードを有効にしたら接続できなくなった

スマートフォンの機内モードを有効にすると、時計と接続できません。スマートフォンの機内モードを解除してから、スマートフォンのホーム画面で「CASIO WATCHES」アイコンをタップした後、時計の B ボタンを 5 秒以上押し続けてください。



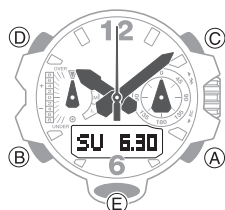
Q3 スマートフォンの Bluetooth をオンからオフにしたら接続できなくなった

スマートフォンの Bluetooth をオフからオンにし、ホーム画面で「CASIO WATCHES」アイコンをタップした後、時計の B ボタンを 5 秒以上押し続けてください。



Q4 スマートフォンの電源を切ったら接続できなくなった

スマートフォンの電源を入れ、「CASIO WATCHES」アイコンをタップしてから、時計の B ボタンを 5 秒以上押し続けてください。

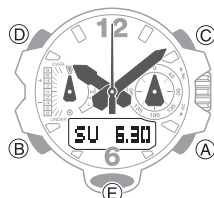


どうしても接続できない場合

Q1 どうしてもスマートフォンと時計を接続できない

スマートフォンを確認しましたか？

スマートフォンの電源を入れ直し、「CASIO WATCHES」アイコンをタップしてから、時計の B ボタンを 5 秒以上押し続けてください。



ペアリングをやり直しましたか？

CASIO WATCHES とスマートフォンからペアリング情報を削除した後、ペアリングをやり直してください。

- ☞ CASIO WATCHES からペアリング情報を削除する
- ☞ ③ ペアリングする

それでも接続できない場合

時計からペアリング情報を削除した後、ペアリングをやり直してください。

- ☞ 時計のペアリング情報を削除する
- ☞ ③ ペアリングする

スマートフォンを機種変更した場合

Q1 今使っている時計を別のスマートフォンと接続したい

お使いになっている時計からペアリング情報を削除した後、接続したいスマートフォンをペアリングしてください。

- ☞ スマートフォンを買い替えたとき

Bluetooth 接続による自動時刻修正機能 (Time Adjustment)

Q1 どのタイミングで時刻を合わせるのですか？

時刻合わせのタイミングは、午前 12 時半頃、午前 6 時半頃、午後 12 時半頃、午後 6 時半頃で、それぞれの時刻になると自動で接続して時刻が合います。時刻合わせが終了すると自動で接続が解除されます。

Q2 自動修正の時刻になっても時刻が合わない

時刻合わせのタイミングが遅れていますか？

都市の時刻を入れ替えたり、手動で時刻を合わせたりすると、それから 24 時間は自動時刻修正が起動しません。これらの操作の後、24 時間経過すると自動時刻修正が機能するようになります。

自動時刻合わせは有効になっていますか？

自動時刻合わせを無効にしていると、時刻合わせのタイミングになっても時刻合わせを開始しません。自動時刻合わせを有効にしてください。

- ☞ 病院内、飛行機内で使うとき

Q3 正しい時刻が表示されない

スマートフォンが圏外の状態になっているなどでネットワークに接続できない場合は、正しい時刻が表示されない可能性があります。その場合は、スマートフォンをネットワークに接続して時刻を合わせてください。

高度計測

**Q1 同じ場所なのに計測値が異なる
標高や海拔高度と計測値に差がある
正確な高度計測ができない**

時計に内蔵されている圧力センサーで計測した気圧の変化量を、高度に換算しています。そのため、同じ場所で計測しても、気圧が変化すると表示される値が変わります。また、標高や海拔高度とは異なる値が表示されることがあります。登山などで使用する場合は、実際に使用する場所の高度(標高)に、こまめに補正してから計測されることをおすすめします。

☞ 高度計測値を補正(オフセット)する

Q2 高度差を計測したら、機能針が[0]を示した

高度計測値が計測範囲内(-700m~10,000m)を超えたときは、機能針が[0]を示します。[ERR]が表示されたときは、センサーの異常の可能性あります。

☞ 基準点からの高度差を確認する

Q3 計測中に[ERR]が表示された

センサーの異常の可能性あります。再度計測してください。

何回か計測しても[ERR]が表示される場合は、「修理に関するお問合せ先」(「はじめにお読みください」を参照)にご相談ください。

方位計測

Q1 画面の表示全体が点滅している

異常磁気を検出しました。強い磁力がある場所から離れて、再計測してください。

☞ 方位計測のご注意

- 再計測しても画面の表示が点滅する場合は、時計本体が磁気を帯びている可能性があります。強い磁力がある場所から離れて、方位を補正した後、計測してください。

☞ 方位計測値のずれを補正する

Q2 計測中に[ERR]が表示された

センサー異常時、または強い磁力の近くで計測したときに表示されます。強い磁力がある場所から離れて、再度計測してください。何回か計測しても[ERR]が表示される場合は、「修理に関するお問合せ先」(「はじめにお読みください」を参照)にご相談ください。

☞ 方位計測のご注意

Q3 方位を補正したら、[ERR]が表示された

[ERR]が表示された場合、センサーの異常が考えられます。

- [ERR]表示が約1秒後に消えた場合、もう一度補正してください。
- 何回か操作しても、[ERR]が表示されるときは、「修理に関するお問合せ先」(「はじめにお読みください」を参照)にご相談ください。

Q4 予備のコンパス(方位磁針)と比較して、計測した方位が異なる

強い磁力がある場所から離れて、方位を補正した後、計測してください。

☞ 方位計測値のずれを補正する

☞ 方位計測のご注意

**Q5 同じ場所で計測結果が異なる
室内で方位を計測できない**

強い磁力がある場所から離れて、計測してください。

☞ 方位計測のご注意

ロケーションメモリー機能

Q1 ロケーションメモリーができない

ペアリングされていますか？

時計とスマートフォンがペアリングされていないと、ロケーションメモリーの操作はできません。時計とスマートフォンをペアリングしてください。

☞ ③ ペアリングする

スマートフォンが位置情報を取得できる状態になっていますか？

スマートフォンで、CASIO WATCHES の位置情報の使用を許可していないと、ロケーションメモリーは使用できません。位置情報の使用を許可してください。

スマートフォンがGPSを取得できる環境にいますか？

以下のような環境では、GPSを取得しにくい場合があります。

- 上空の見える範囲が狭い場所
 - 樹木やビルの近く
 - 駅や空港などの混雑した場所
 - 交通量が多く電波障害がある場所
 - 電車の架線、高圧電線やテレビ塔の近く
- 以下の場所では、GPS電波を受信できません。
- 上空が見えない場所
 - 地下、トンネル内、水中
 - 屋内(窓の近くでは受信できることがあります)
 - 無線通信機器など電磁波を発する機器の近く

Q2 記録した位置情報を変更したい

CASIO WATCHES で記録した位置情報を修正できます。

☞ 時計の各種機能を設定する

ロケーションインジケーター機能

Q1 ロケーションインジケーターが表示されない

ペアリングされていますか？

時計とスマートフォンがペアリングされていないと、ロケーションインジケーターの操作はできません。時計とスマートフォンをペアリングしてください。

☞ ③ ペアリングする

ロケーションメモリーを実施しましたか？

ロケーションメモリーで位置情報の記録がないと、ロケーションインジケーターは表示されません。ロケーションメモリーで位置情報を記録してください。

☞ 現在の位置情報を記録する (ロケーションメモリー)

スマートフォンが位置情報を取得できる状態になっていますか？

スマートフォンで、CASIO WATCHES の位置情報の使用を許可していないと、ロケーションインジケーター機能は使用できません。位置情報の使用を許可してください。

スマートフォンが GPS を取得できる環境にありますか？

以下のような環境では、GPS を取得しにくい場合があります。

- 上空の見える範囲が狭い場所
 - 樹木やビルの近く
 - 駅や空港などの混雑した場所
 - 交通量が多く電波障害がある場所
 - 電車の架線、高圧電線やテレビ塔の近く
- 以下の場所では、GPS 電波を受信できません。
- 上空が見えない場所
 - 地下、トンネル内、水中
 - 屋内 (窓の近くでは受信できることがあります)
 - 無線通信機器など電磁波を発する機器の近く

気圧計測

Q1 気圧差を計測したら、機能針が [0] を示した

気圧計測値が計測範囲内 (260hPa～1,100hPa) を超えたときは、機能針が [0] を示します。[ERR] が表示されたときは、センサーの異常の可能性があります。

☞ 気圧差を確認する

Q2 計測中に [ERR] が表示された

センサーの異常の可能性があります。再度計測してください。何回か計測しても [ERR] が表示される場合は、「修理に関するお問合せ先」(「はじめにお読みください」を参照) にご相談ください。

温度計測

Q1 計測中に [ERR] が表示された

センサーの異常の可能性があります。再度計測してください。何回か計測しても [ERR] が表示される場合は、「修理に関するお問合せ先」(「はじめにお読みください」を参照) にご相談ください。

ワールドタイム

Q1 設定したワールドタイム都市の時刻がずれている

サマータイム設定 (スタンダードタイム/サマータイム) が正しくない可能性があります。

☞ ワールドタイム都市を設定する

アラーム・時報

Q1 アラームが鳴らない

時計は充電されていますか？

充電量が回復するまで光を当ててください。

☞ 充電する

リゅうずは元の位置に戻っていますか？

リゅうずを引いた状態ではアラームが鳴りません。リゅうずを押して元の位置に戻してください。

上記以外

アラームがセットされていない可能性があります。アラームをセットしてください。

☞ アラームをセットする

Q2 時報が鳴らない

時計は充電されていますか？

充電量が回復するまで光を当ててください。

☞ 充電する

リゅうずは元の位置に戻っていますか？

リゅうずを引いた状態では時報が鳴りません。リゅうずを押して元の位置に戻してください。

上記以外

時報がセットされていない可能性があります。時報をセットしてください。

☞ 時報をセットする

針の動きと画面の表示

Q1 現在のモードがわからない

現在のモードは、画面の表示で確認できます。モードは B ボタンで切り替えることができます。

🔗 [モードを切り替える](#)

Q2 秒針が 2 秒ごとに動いている

充電量が不足しています。充電量が回復するまで光を当ててください。

🔗 [充電する](#)

Q3 すべての針が停止し、ボタン操作ができない

充電切れです。充電量が回復するまで光を当ててください。

🔗 [充電する](#)

Q4 突然、針の動きが速くなった

以下の原因の場合は故障ではありません。通常の動きに戻るまでお待ちください。

- パワーセービング機能が解除され、復帰している。
🔗 [節電 \(パワーセービング機能\)](#)
- 標準電波を受信して、時刻合わせをしている。
🔗 [標準電波で時刻を合わせる](#)
- スマートフォンと接続して時刻を修正している。
🔗 [時計の時刻を自動で合わせる](#)

Q5 針の動きが止まり、ボタン操作ができなくなった

充電回復モードです。回復するまで (約 15 分間) お待ちください。明るい場所に置いて充電すると早く回復します。

Q6 現在時刻の表示が 9 時間、3 時間 15 分など区切りのよい時間でずれている

都市の設定が正しくありません。正しく設定してください。

🔗 [ホーム都市を設定する](#)

Q7 現在時刻の表示が 1 時間や 30 分など区切りのよい時間でずれている

サマータイム設定が正しくない可能性があります。正しく設定してください。

🔗 [ホーム都市を設定する](#)

Q8 針の時刻と画面の時刻が異なる

強い磁気や衝撃の影響で針の位置が合っていないことがあります。針の位置を補正してください。

🔗 [針の位置を補正する](#)

- 手で針の位置を補正したい場合は、以下をご覧ください。

🔗 [針の補正](#)

リゅうずの操作

Q1 リゅうずを回しても何も操作できない

リゅうずを引いたまま 2 分以上 (針の位置を補正している場合は約 30 分間) 何も操作しないと、操作が効かなくなります。リゅうずをいったん戻した後、再度引いてください。

🔗 [リゅうずを使う](#)

充電

Q1 光に当てても操作できない

充電切れになると操作できなくなります。充電量が回復するまで光を当ててください。

🔗 [充電量を確認する](#)

Q2 [RECOVER] が点滅している

充電回復モードです。回復するまで (約 15 分) お待ちください。明るい場所に置いて充電すると早く回復します。

- センサー計測、ライトの点灯などを短時間に連続使用すると充電量が急激に減少し、充電回復モードに切り替わります。一時的に使用できる機能が制限されますが、回復後は制限が解除されます。

🔗 [充電量を確認する](#)



Q3 [CHARGE] が点滅している

充電量が著しく低下しています。すぐに、光に当てて充電してください。

🔗 [充電量を確認する](#)

その他

Q1 「困ったときは」には知りたい情報がない

以下のウェブサイトをご確認ください。

<https://casio.jp/support/wat/>